

宇城市のまちづくりに関する アンケート調査結果報告(速報)

【オープン調査】

令和7年8月
宇城市

I 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・1

1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・2

2. 調査の方法・・・・・・・・・・・・・・・・2

3. 回収状況・・・・・・・・・・・・・・・・2

4. 調査項目・・・・・・・・・・・・・・・・2

5. その他・・・・・・・・・・・・・・・・2

II 調査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・3

1. あなた(回答者)のことについて・・・・・・4

2. 暮らしについて・・・・・・・・・・・・11

3. 交通について・・・・・・・・・・・・24

4. その他について・・・・・・・・・・・・26

5. 宇城市の将来について・・・・・・・・27

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

令和6年度に策定した「宇城市総合計画(2025-2032)」や「宇城市地方創生総合戦略」の達成状況や今後のまちづくりに対する意見を市民から聴取し、各種施策等検討の基礎資料とするためにアンケート調査を実施しました。

2. 調査の方法

- (1)調査対象 住民基本台帳から無作為に抽出した、令和7年4月1日現在18歳以上の市民のうち約3,000人
- (2)調査期間 令和7年6月1日(日)～令和7年6月30日(月)
- (3)調査方法 ウェブ回答フォームのURL及び二次元コードを記載した依頼はがきを郵送し、原則ウェブにより回答。また、市広報やホームページでも周知。その内、紙での回答を希望された方には別途紙調査票を郵送。

3. 回収状況

発送数	有効配布数	有効回収数	有効回収率	参考_ウェブ回答数	参考_紙回答数
2,999	2,971	793(※)	26.7%(※)	723(※)	70(※)

※今回、抽出した対象者と抽出外のそれ以外の回答者の区別できないため、※印部分は、参考データとなっています。
回答者の内、宇城市内在住者の回答数を算出しています。

4. 調査項目

- 1. あなた(回答者)のことについて
- 2. 暮らしについて
- 3. 交通について
- 4. その他について

5. その他

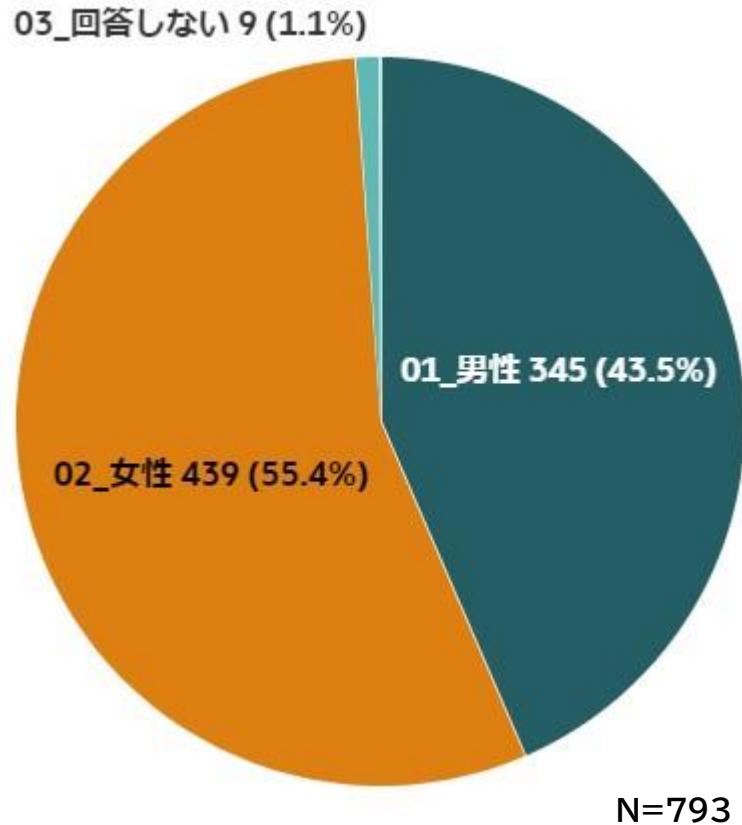
- (1)全体の回答者数をN、該当質問の各項目の回答者数をnとして表記しています。
- (2)比率はすべてN又はnを100%とする百分率で表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- (3)選択肢の複数選択が可能な設問の場合、その比率の合計は原則として100.0%を超えます。
- (4)グラフや表中の回答選択肢や回答の小さい比率は、短縮・省略して表記している場合があります。

Ⅱ 調査の結果

Ⅱ 調査の結果

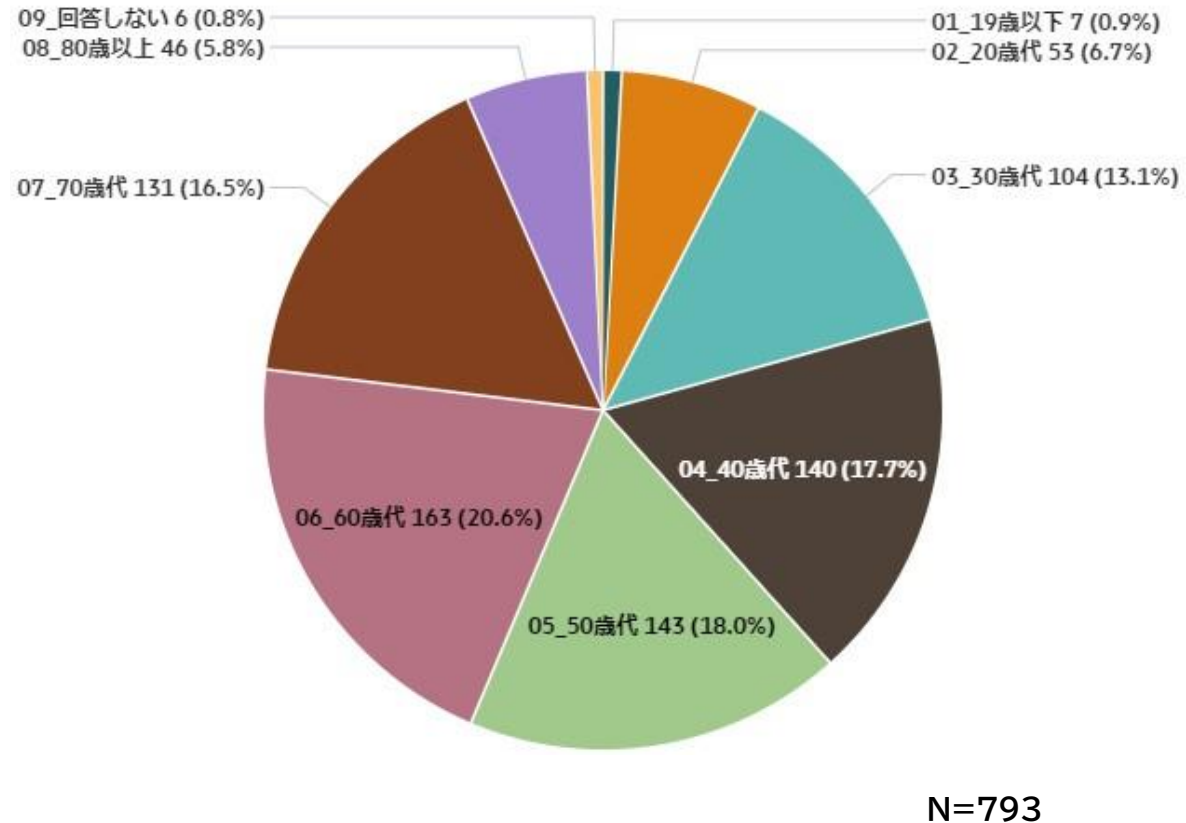
1. あなた(回答者)のことについて

1-1.あなたの性別を教えてください。



回答者の性別は、男性より女性の割合が高くなっている。

1-2.あなたの年齢を教えてください。



回答者の年齢は、60歳代の割合が多く、50代、40代、70代、30代の順に多い。

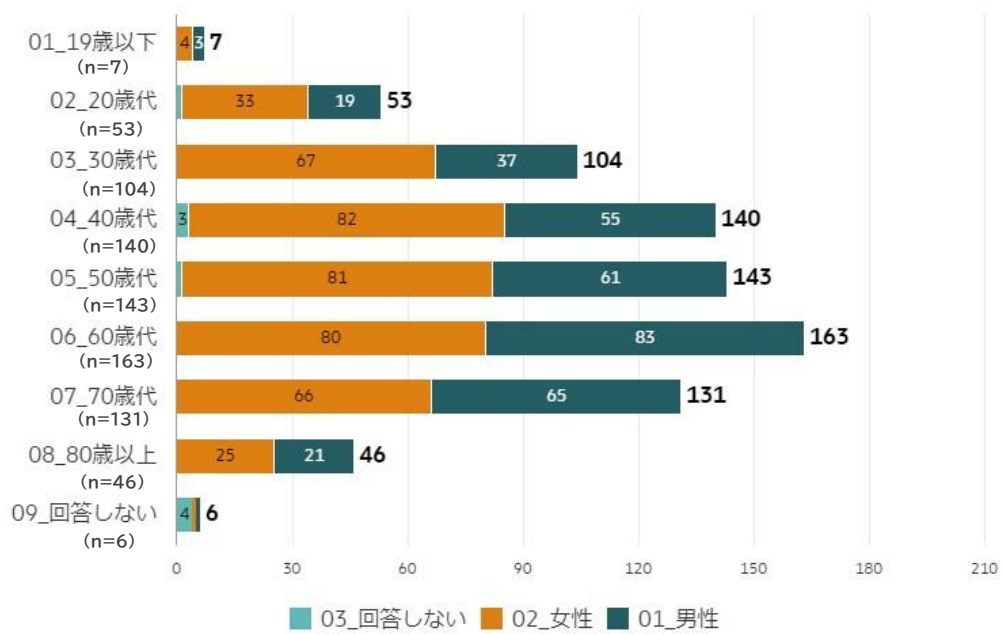
Ⅱ 調査の結果

1. あなた（回答者）のこについて

性別・年齢別回答割合



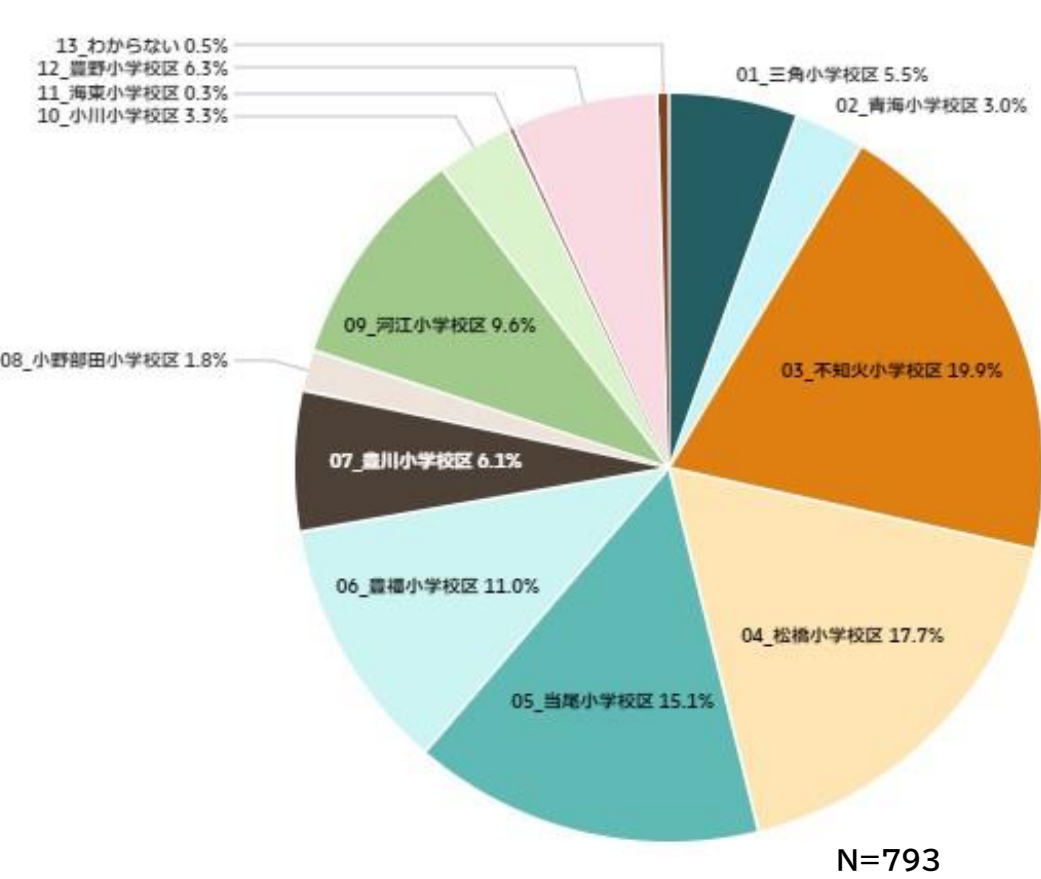
年齢別・性別回答数



Ⅱ 調査の結果

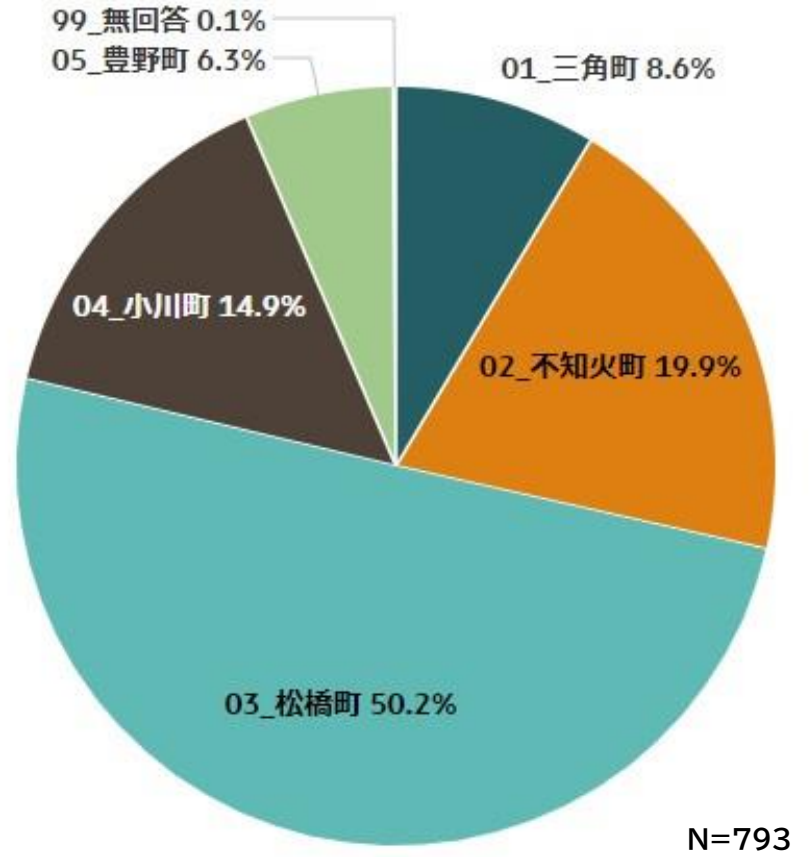
1. あなた(回答者)のことについて

1-3.お住まいの校区を教えてください。



回答者の居住校区は、不知火小学校区の割合が最も高く、次いで松橋小学校区、当尾小学校区と続いている。

町別回答割合

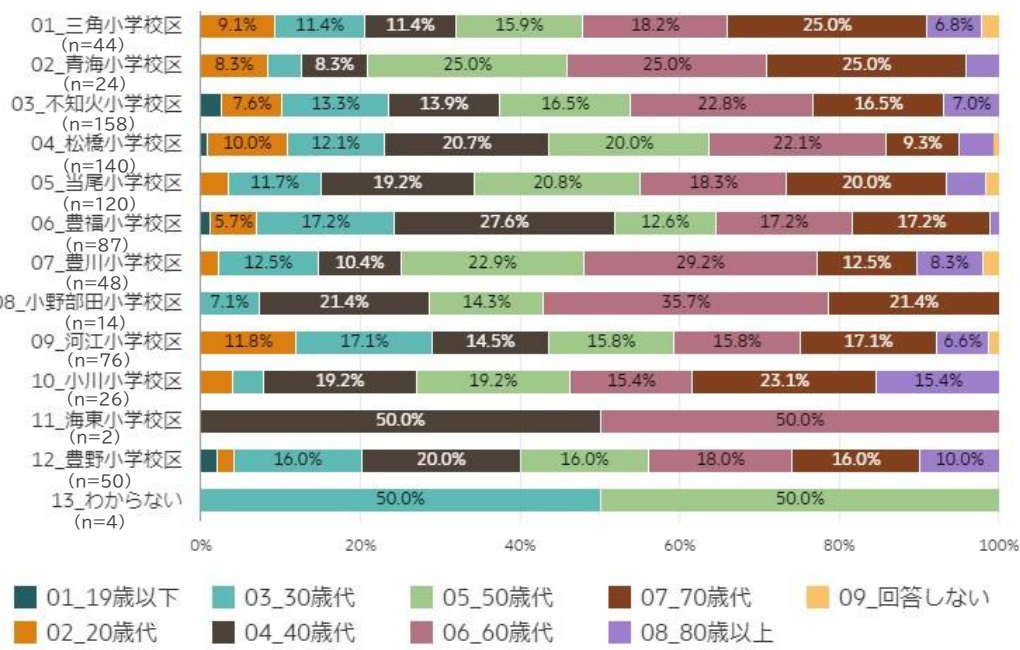


回答者の居住地区は、松橋町の割合が50.2%で最も高い。割合の内訳は、宇城市全体の18歳以上町別人口の割合と同程度となっている。

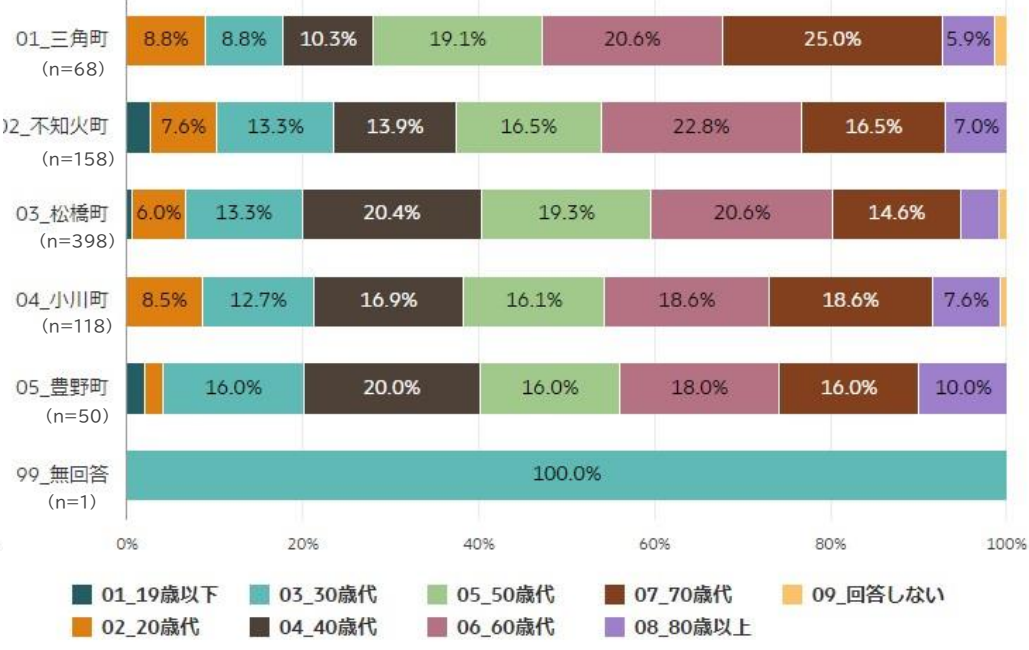
Ⅱ 調査の結果

1. あなた(回答者)のことについて

校区別・年齢別回答割合



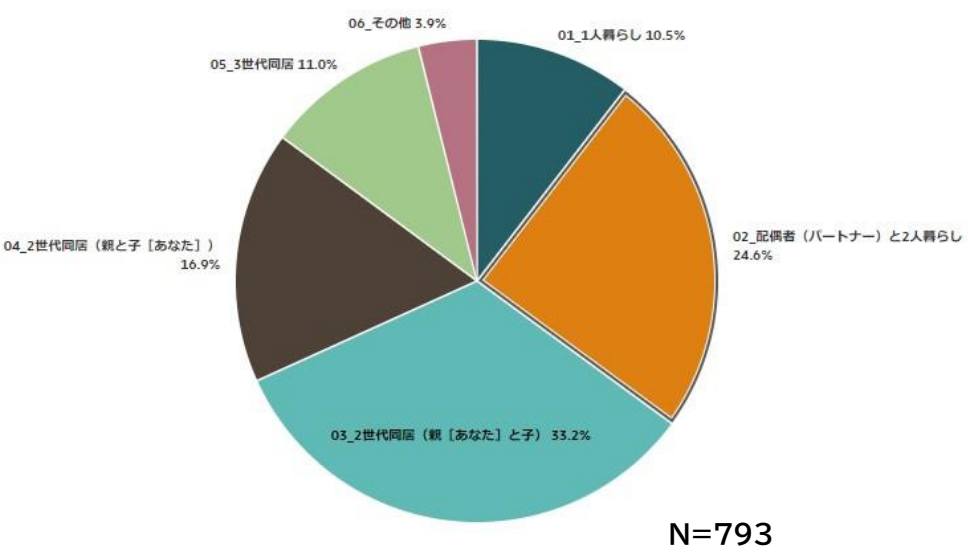
町別・年齢別回答数



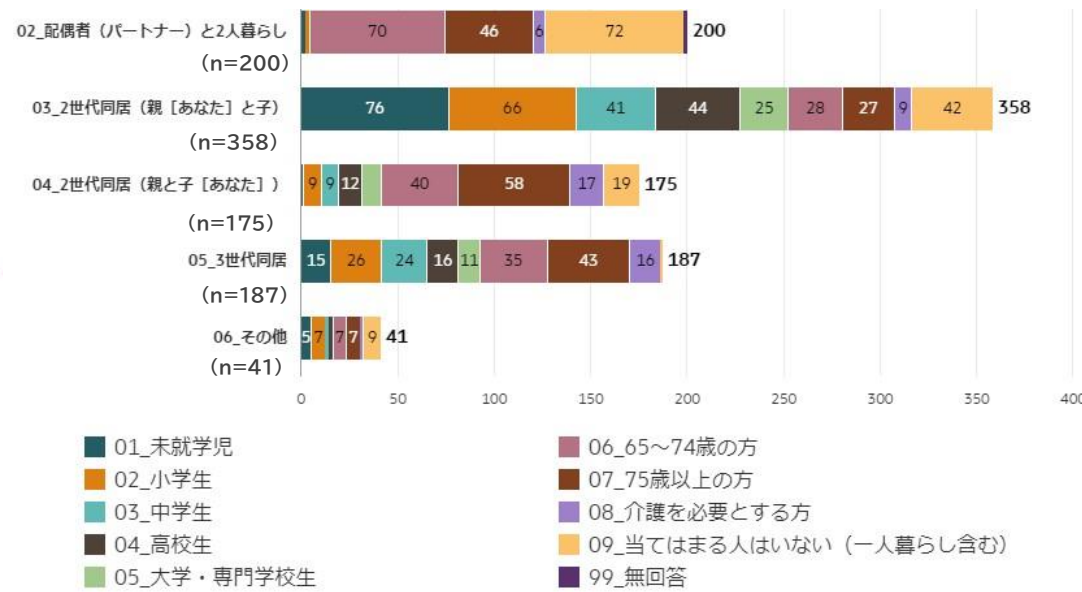
Ⅱ 調査の結果

1. あなた(回答者)のことについて

1-4.あなたと同居されている家族の構成を教えてください。



同居家族に次に当てはまる方はいますか？
(当てはまるものすべてに複数回答)

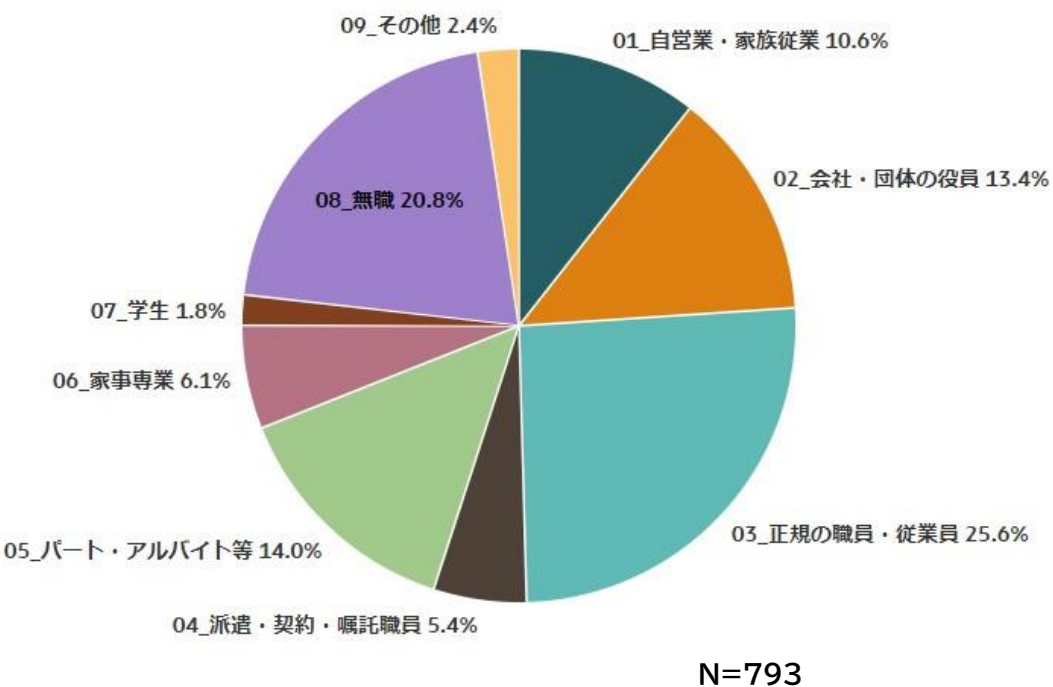


回答者の家族構成は、2世帯同居(親[あなた]と子)の割合が33.2%で最も高く、次いで、配偶者(パートナー)と2人暮らし、2世代同居(親と子[あなた])と続いている。

Ⅱ 調査の結果

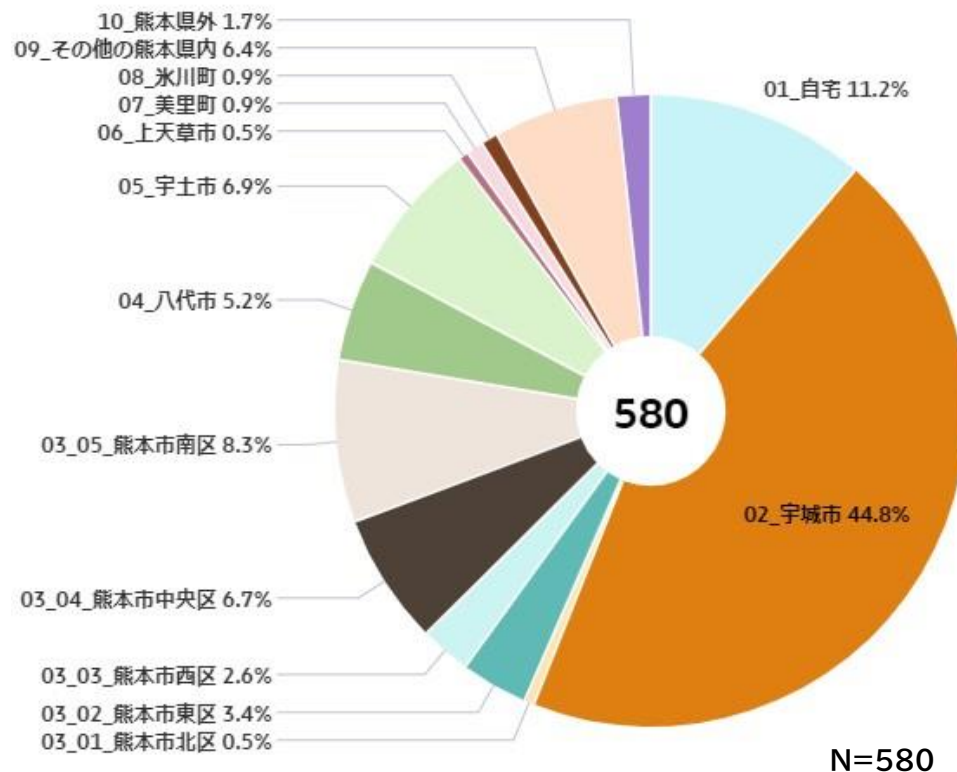
1. あなた(回答者)のことについて

1-5.あなたの職業を教えてください。



回答者の職業は、正規の職員・従業員の割合が25.6%で最も高く、次いで、無職、パート・アルバイト等と続いている。

1-6.あなたの通勤・通学先はどちらですか？

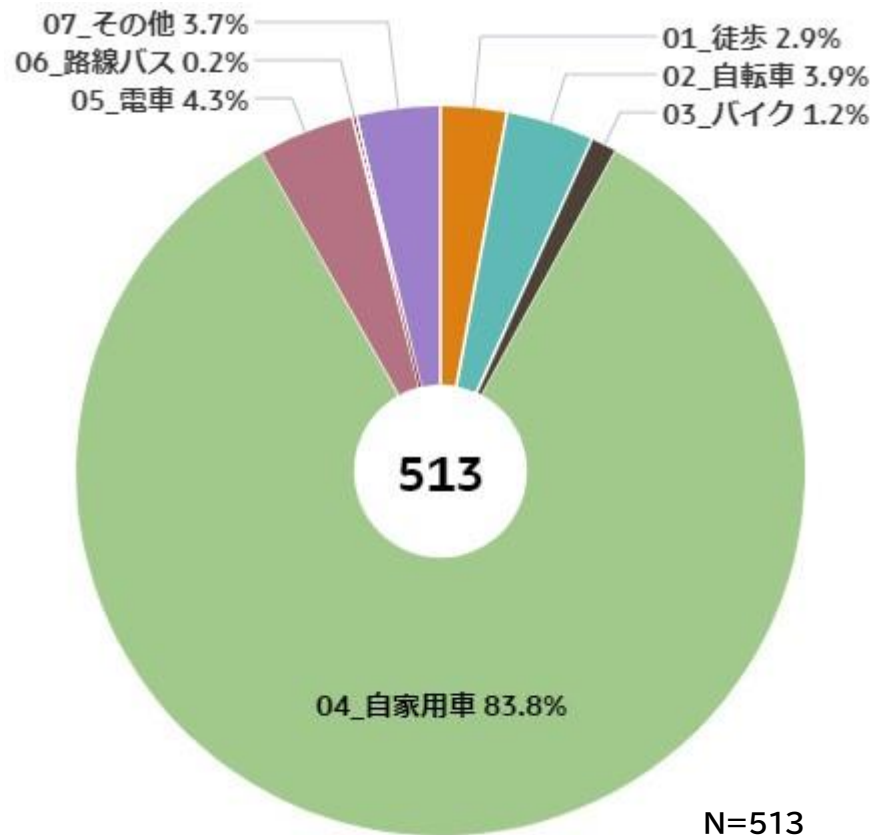


家事専業・無職以外の回答者の通勤・通学先は、自宅以外の宇城市内が44.8%で最も高く、自宅と合わせると宇城市内が5割を超える。

Ⅱ 調査の結果

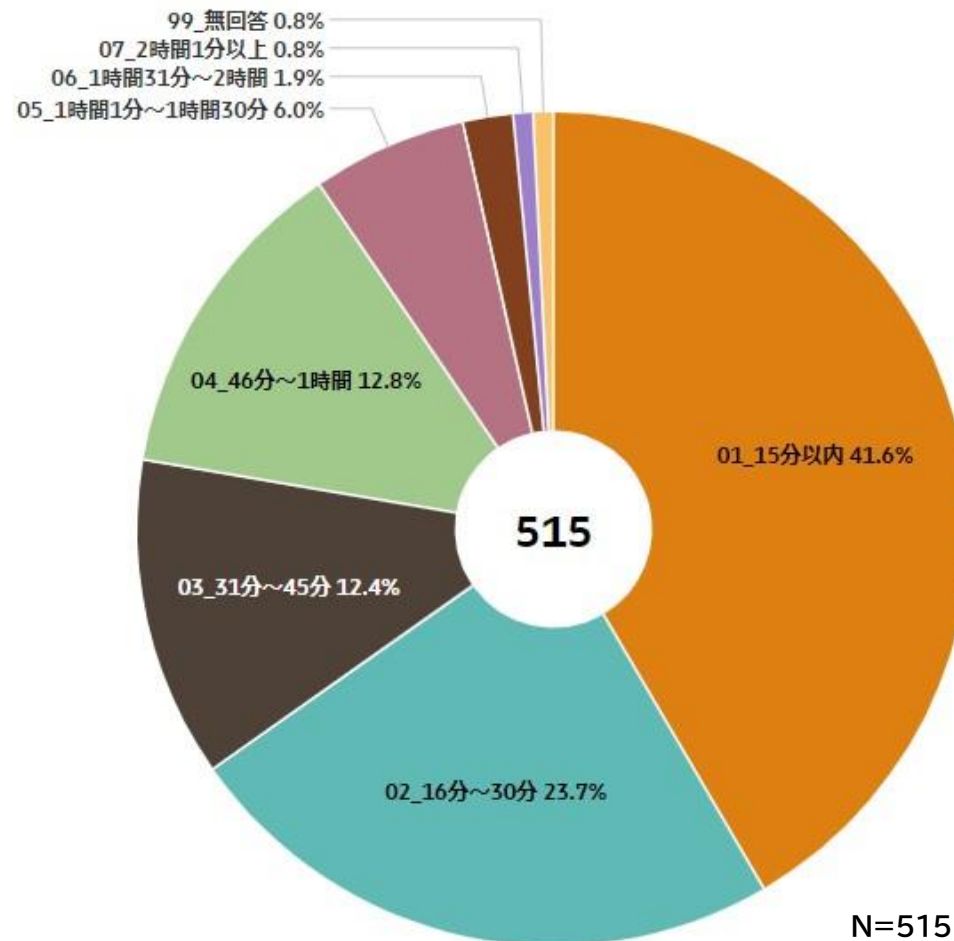
1. あなた(回答者)のことについて

1-7.通勤・通学先への主な交通手段を教えてください。



通勤・通学先への主な交通手段は、自家用車の割合が最も高く、83.8%となっている。

1-8.通勤・通学時間を教えてください。

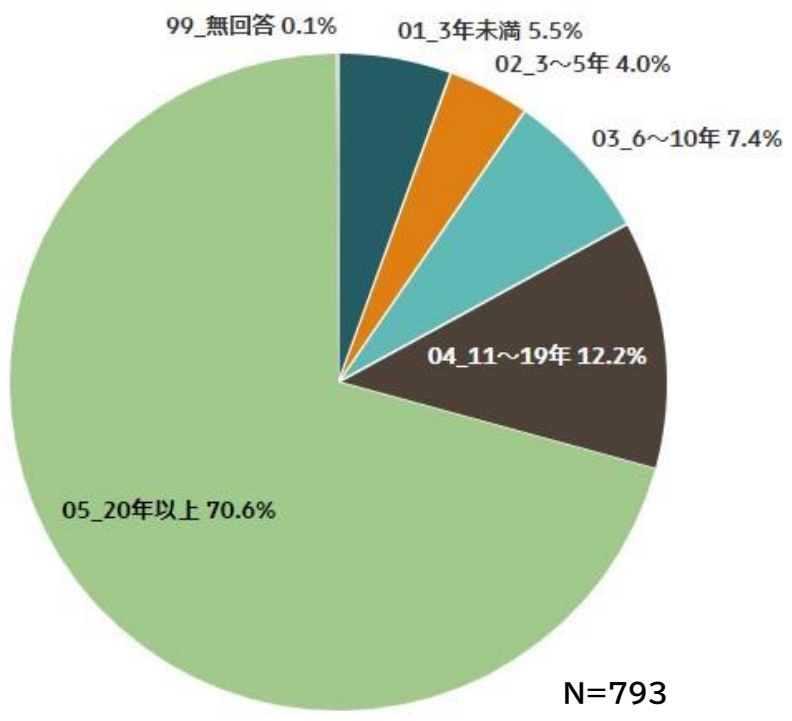


通勤・通学時間は、15分以内が最も高く、41.6%となっており、次いで16分～30分以内、46分～1時間以内、31分～45分以内と続いている。

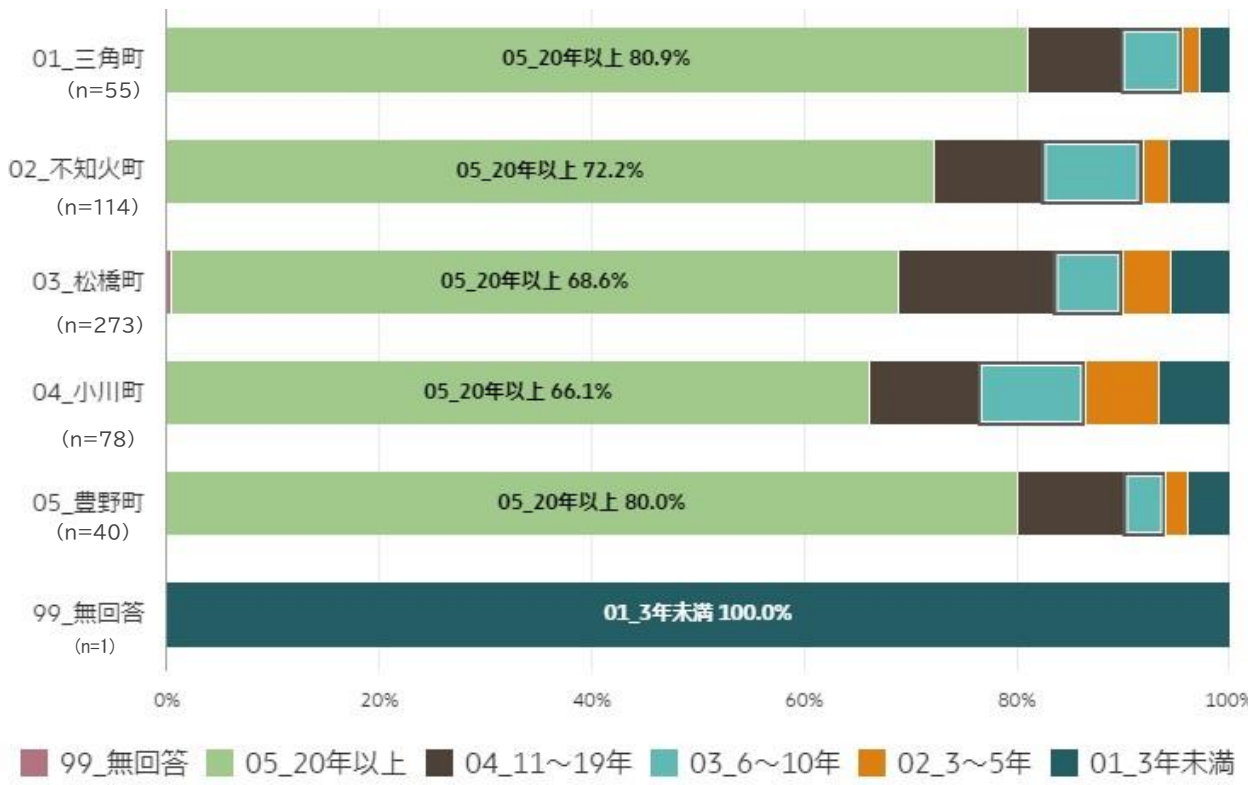
Ⅱ 調査の結果

2. 暮らしについて

2-1.宇城市に住んで通算何年になりますか？



2-1.町別割合

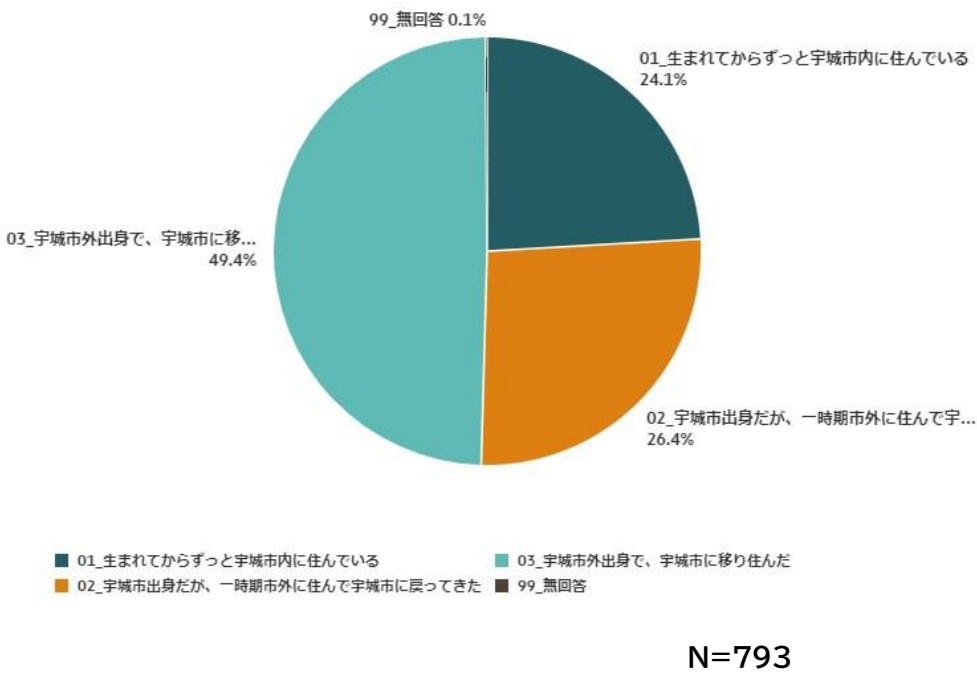


回答者の通算居住年数は、20年以上の割合が70.6%で最も高く、3年未満の割合は5.5%となっている。

Ⅱ 調査の結果

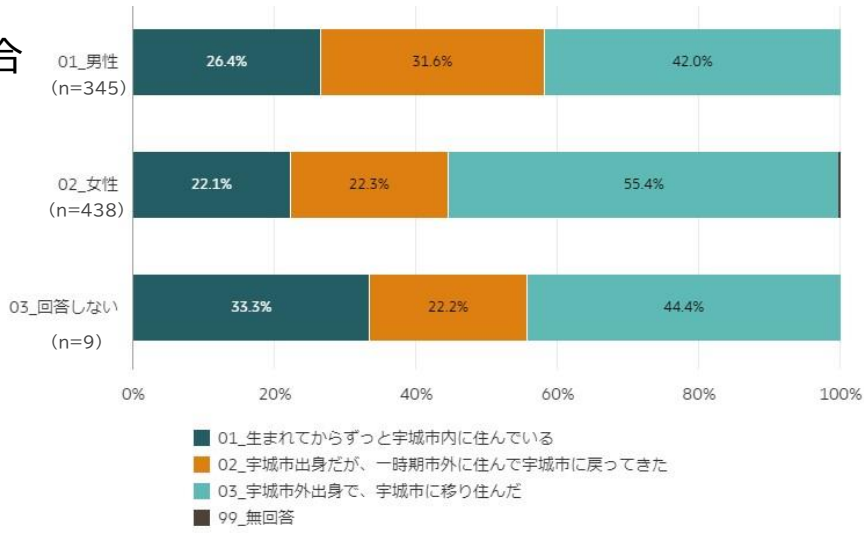
2. 暮らしについて

2-2.宇城市での居住状況を教えてください。

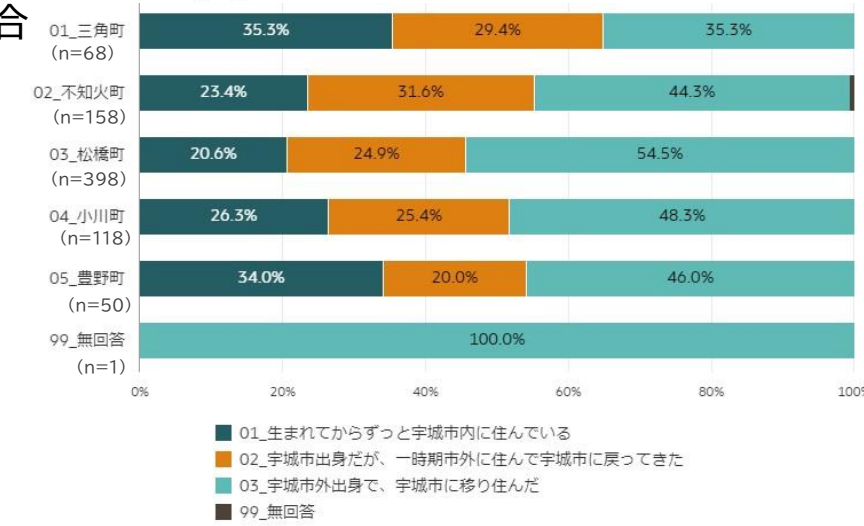


回答者の宇城市での居住状況は、宇城市外出身で、移り住んだ人の割合が最も高く、49.4%となっている。

2-2.性別割合



2-2.町別割合

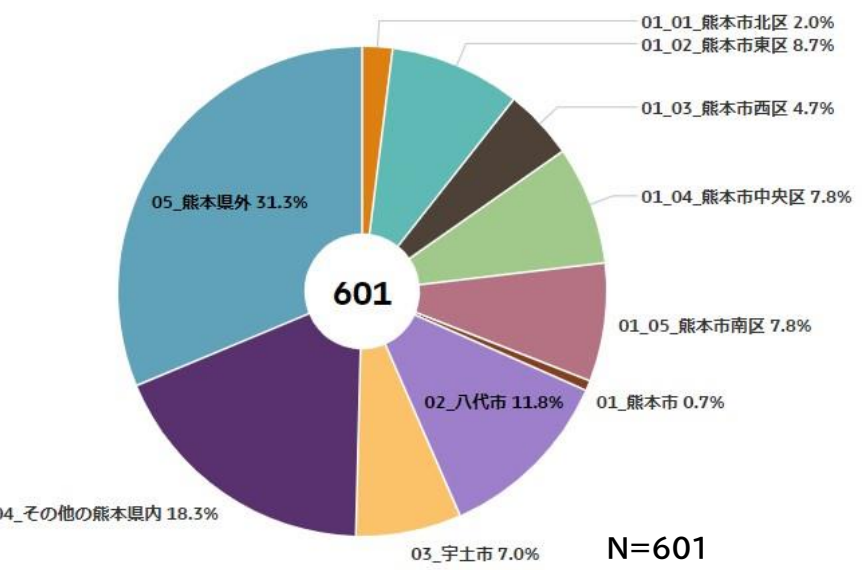


性別で居住状況をみると、女性の方が宇城市外出身で移り住んだ割合が高い。

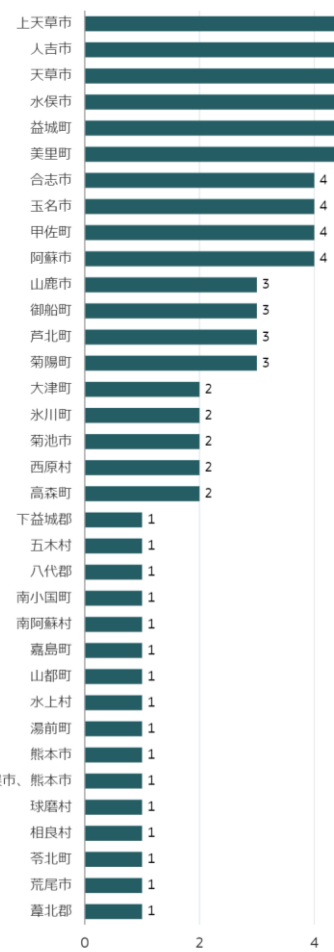
Ⅱ 調査の結果

2. 暮らしについて

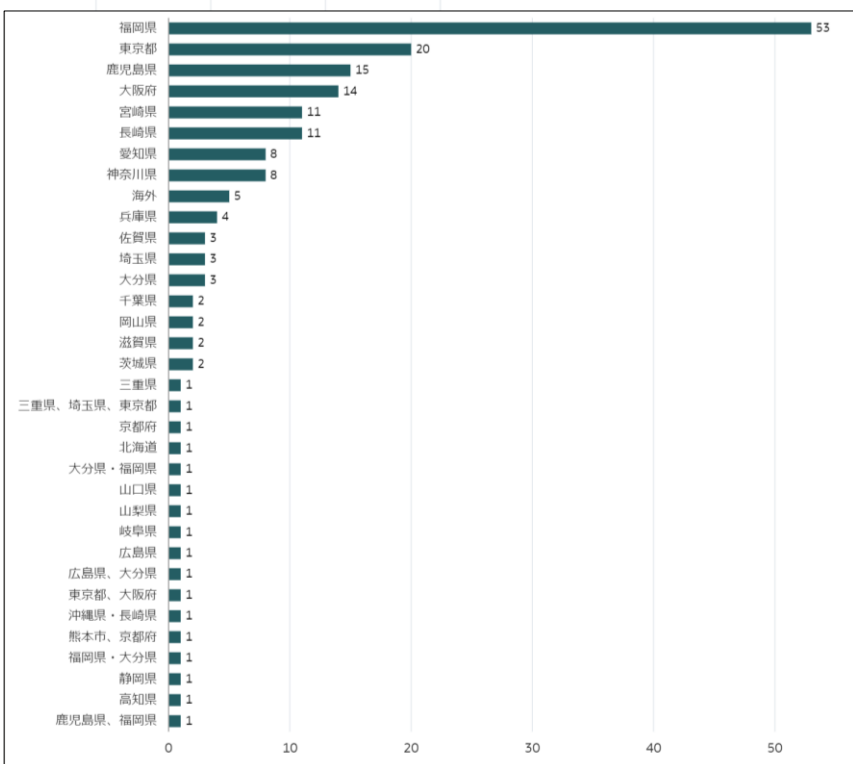
宇城市に戻ってくる(移り住む)前の居住地



その他の熊本県内の内訳



その他の熊本県外の内訳



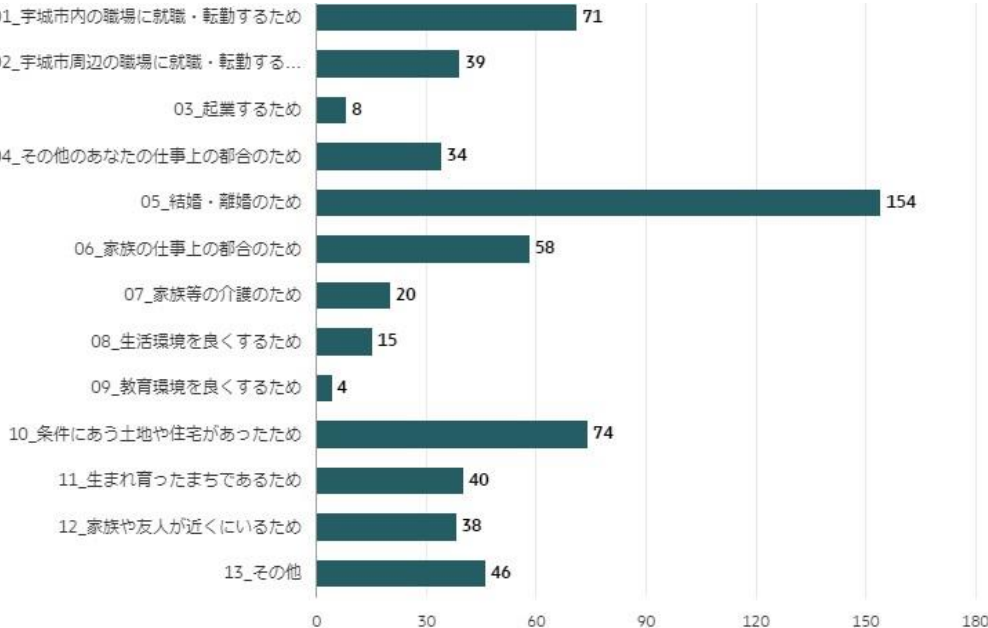
宇城市に戻ってきた(移り住んだ)回答者の前居住地は、熊本市の割合が27.7%で、熊本県内の中では最も高くなっている。

その他の熊本県内では、上天草市が最も多く、熊本県外では福岡県が最も多い。

Ⅱ 調査の結果

2. 暮らしについて

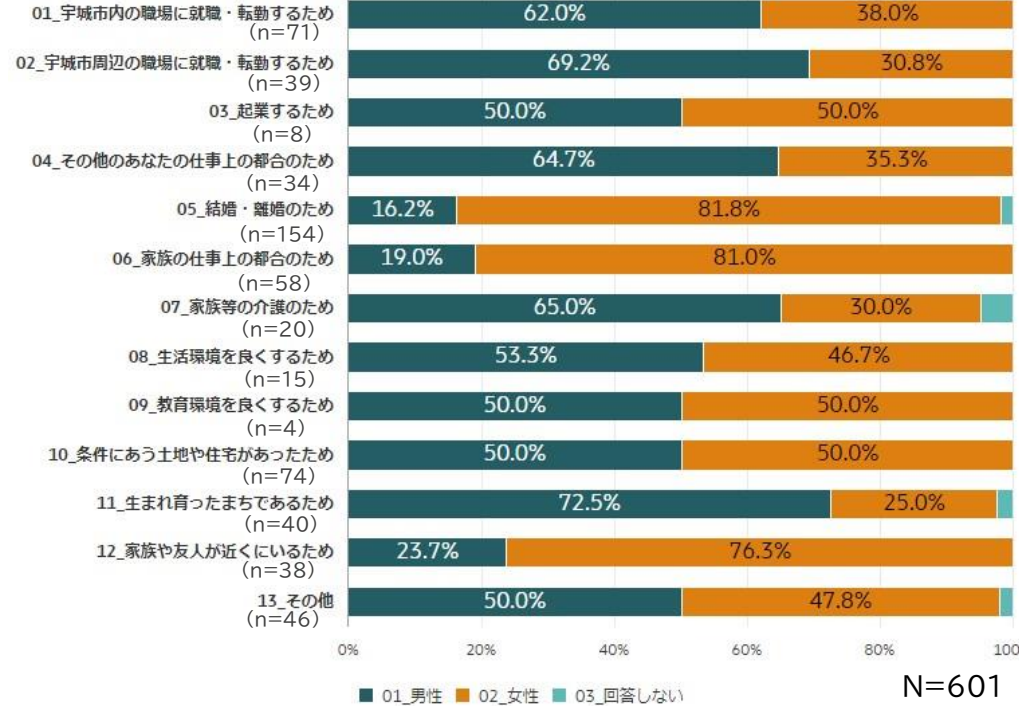
宇城市に戻ってきた(移り住んだ)主な理由 N=601



【その他の回答】
家族の福祉施設があるため/兄弟より引導を渡された/転勤族のため県内での通勤が便利であるため/生活面での行き詰まりその当時の仕事の行き詰まりを感じ帰郷/両親と同居する為/親と同居/敗戦により引き揚げ/実家に住んだ方がお金がかからない/熊本の真ん中あたりで、どこにでも行きやすい/家族との同居の為/主人の実家の建て替えの為/後を継ぐため/親の実家があるため/5年前の豪雨災害で被災したため/配偶者が戻りたいと言ったから仕方なく/母一人暮らしになる為/県の道路の為移転/病気療養の為/妻の実家が近いから/祖父母と同居のため/空き家状態だった妻の実家をリフォームして移住した/実家があるから/3年専門学校/障害児の就学のため/孫の近くに住む為/持家を建てるため/一時的(修学)な転出/僻地に住んで高齢夫婦の二人暮らしが困難となり、娘を頼って宇城市に移り住むことになった/親の実家だから/自宅も取り壊し、介護が必要だから/親族の紹介で土地を買えた。/主人が定年退職をしたため、主人の故郷に帰って来た。/九州の各県に近い

宇城市に戻ってきた(移り住んだ)主な理由は、結婚・離婚のためが最も多い。

宇城市に戻ってきた(移り住んだ)主な理由_性別割合

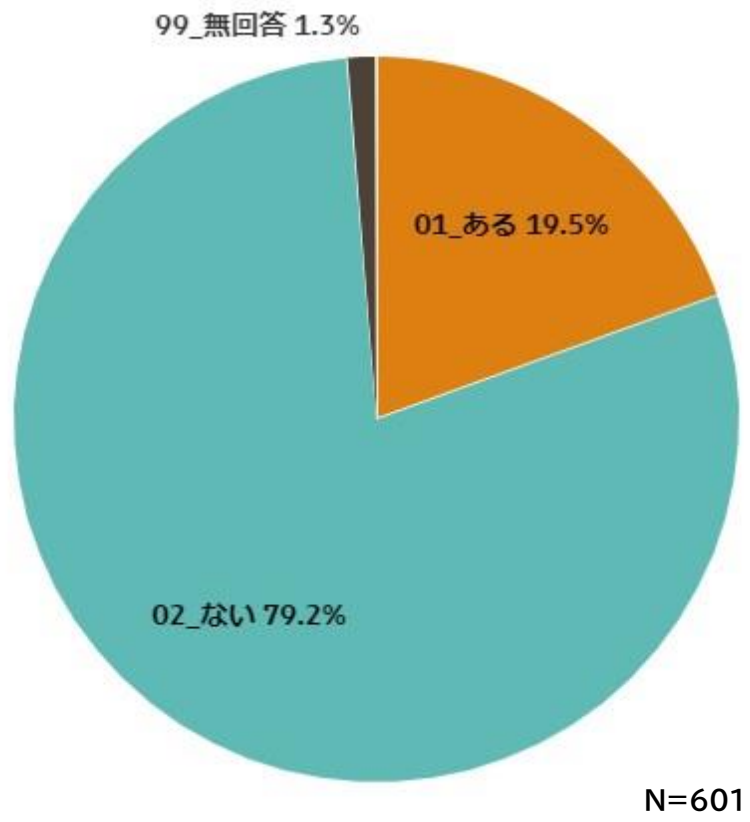


性別でみると、自身の仕事関連では男性の回答割合が高く、家族の仕事上の都合や結婚・離婚のためと回答した割合は女性の方が高くなっている。

Ⅱ 調査の結果

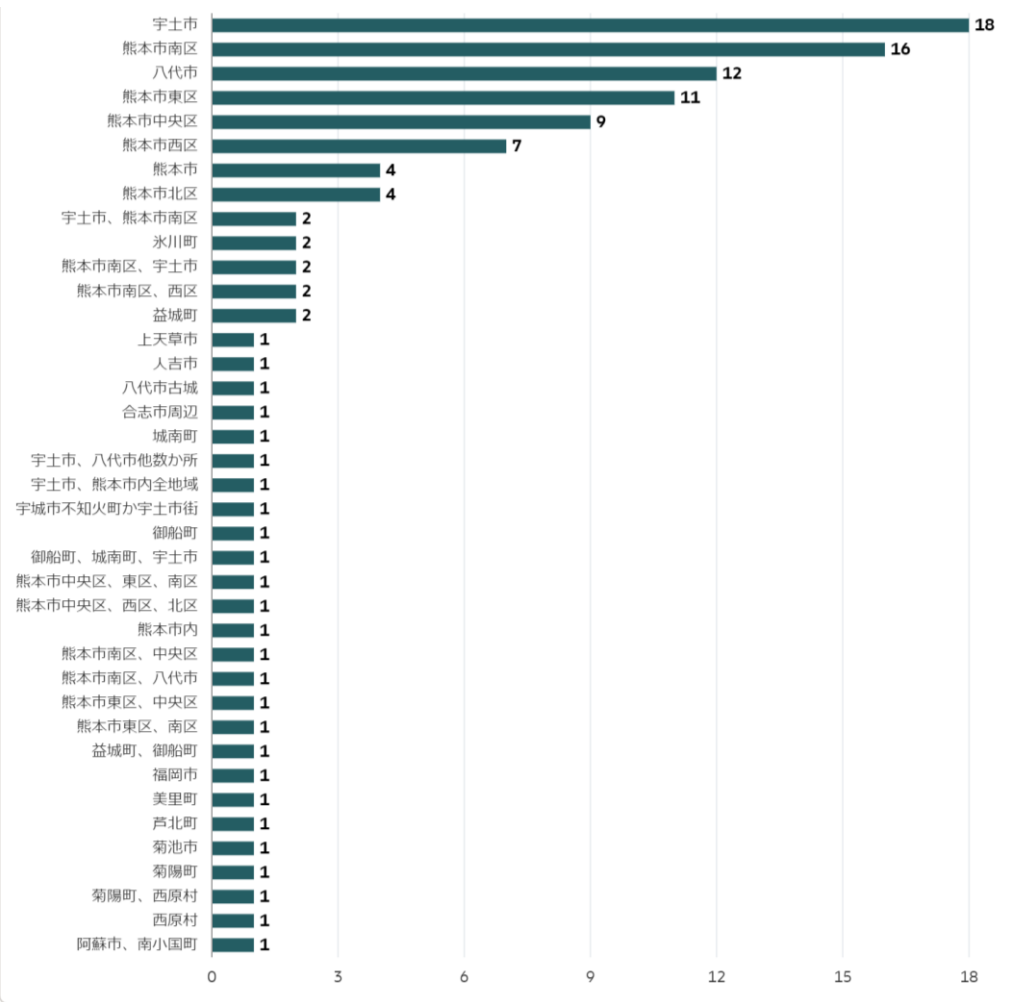
2. 暮らしについて

住む場所を考える時に検討した熊本県内の市町村はありますか？



宇城市の住みやすさは、やや住みやすいの割合が42.0%で最も高く、次いで、とても住みやすいが29.3%となっており、「住みやすい」と回答した割合が7割を超えている。

あると回答した方の県内の自治体の内訳

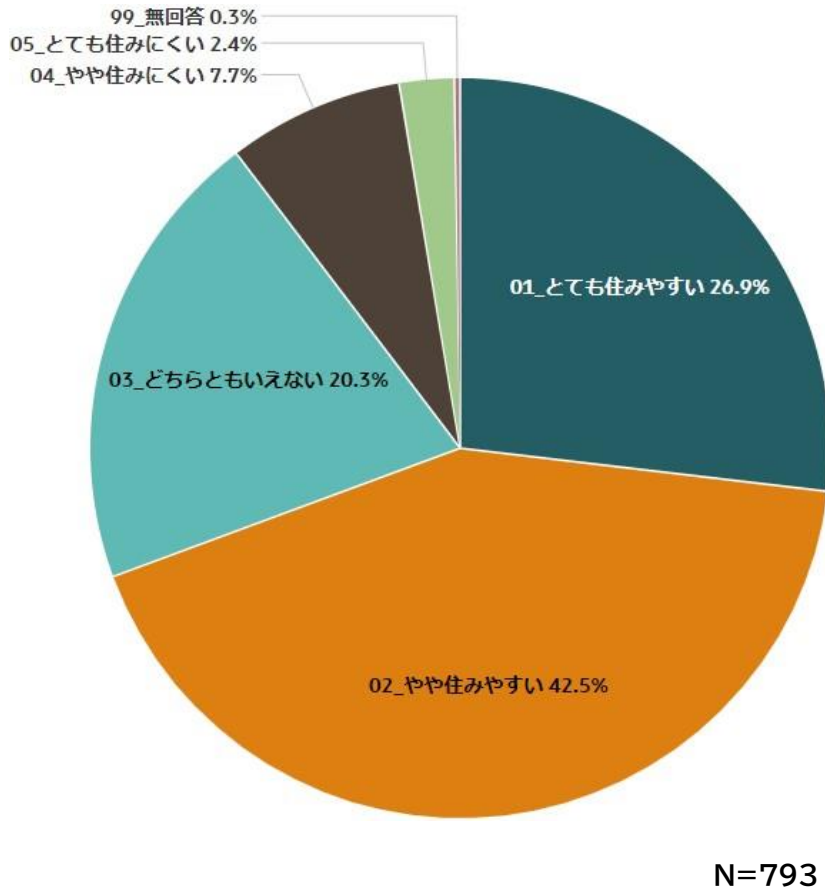


県内の自治体では、宇土市が一番多く、次いで熊本市南区、八代市の順だった。また、上記自治体を検討した理由として、通勤・通学・買い物等の利便性、その土地との関係性、教育含めた各種支援、自然環境などを理由に挙げる人が多かった。

Ⅱ 調査の結果

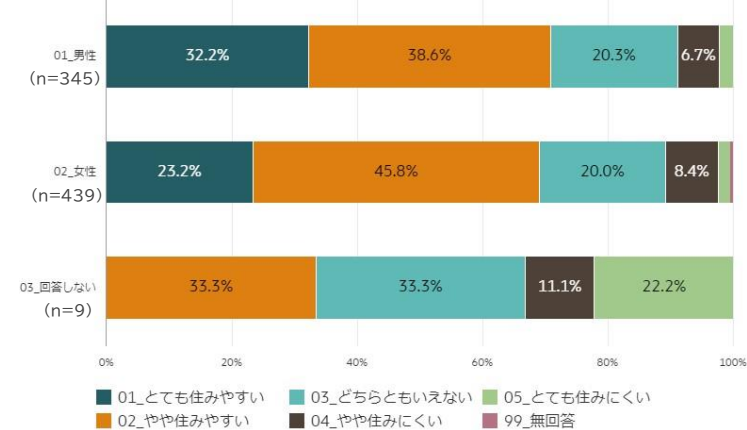
2. 暮らしについて

2-3.あなたにとって、宇城市は住みやすいと感じますか？

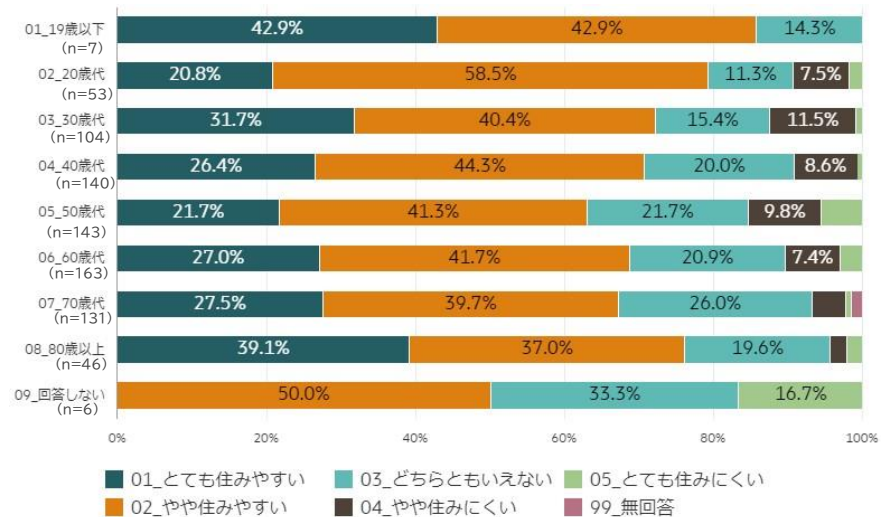


宇城市の住みやすさは、やや住みやすいの割合が42.5%で最も高く、次いで、とても住みやすいが26.9%となっており、「住みやすい」と回答した割合が約7割となっている。

2-3. 性別割合



2-3. 年齢別割合



「住みやすい」と回答した割合は、男女同じくらいで、「住みにくい」と回答した割合は女性が高くなっている。
年齢別では、30歳代で「住みやすい」と回答した割合が高い。

Ⅱ 調査の結果

2. 暮らしについて

2-4.宇城市のどのようなところに「住みやすさ」を感じますか？（3位までの順位回答）

2-4.宇城市のどのようなところに「住みやすさ」を感じますか？	1番目に近い	2番目に近い	3番目に近い	総計
01_子育てのサポート体制が充実している	51	15	8	74
02_子どもの教育環境が充実している	15	16	9	40
03_文化施設・生涯学習・スポーツ環境が充実している	17	20	19	56
04_犯罪・交通事故が少なく治安が良い	98	45	36	179
05_自然環境が豊かである	212	115	62	389
06_福祉サービス・施設が充実している	9	24	15	48
07_医療体制が充実している	14	34	32	80
08_災害が少ない	34	49	34	117
09_道路環境が整備されている	16	16	15	47
10_公共交通の便が良い	48	47	24	119
11_徒歩や自転車での移動がしやすい	5	15	14	34
12_買い物など日常生活に便利である	155	114	82	351
13_働く環境が整備されている	1	1	6	8
14_近所づきあい・人間関係が良い	38	68	60	166
15_感じることはない	62			62
16_その他	17	3	8	28
99_無回答	1			1

【その他の回答】

熊本県のほぼ中央に位置し、JRの駅、高速のインターがある/高速道のインターが近くにあるので、市外へ移動の便がよい。また商業施設も近くにあるので便利/自然環境は豊かであると思うが医療、買い物など片寄りを感じる/特に住み良いとは感じられない/全体の評価は難しい/小学校給食無償/静かでのんびりした雰囲気/道路なども騒がしくなく住み馴れている為、買い物する場所が少なくても車があるので宇城市から引っ越そうとは思わない。親が生きているうちは宇城市にしようと思う/障害児を育てやすい/実家があるから/生まれた場所だから/身内が多い/住む前から知っていた地域/ずっと住んでいる所だから/ずっと住んで慣れたから/野菜等安く買える/熊本市まで近い/渋滞がない/広報紙が素晴らしい/熊本市に比べ地価が安い

「住みやすさ」を感じているところとして、「自然環境が豊かである」への回答が最も多く、次いで、「買い物など日常生活に便利である」、「犯罪・交通事故が少なく治安が良い」、「近所づきあい・人間関係が良い」が続いている。

N=793

Ⅱ 調査の結果

2.暮らしについて

2-5.宇城市のどのようなところに「住みにくさ」を感じますか？（3位までの順位回答）

2-5.宇城市のどのようなところに「住みにくさ」を感じますか？	1番目に近い	2番目に近い	3番目に近い	総計
01_子育てのサポート体制が充実していない	79	61	42	182
02_子どもの教育環境が充実していない	69	53	37	159
03_文化施設・生涯学習・スポーツ環境が充実していない	114	97	80	291
04_犯罪・交通事故が多く治安が悪い	26	16	12	54
05_自然環境が豊かでない	12	10	9	31
06_福祉サービス・施設が充実していない	64	53	41	158
07_医療体制が充実していない	142	113	84	339
08_災害が多い	47	36	26	109
09_道路環境が整備されていない	125	95	64	284
10_公共交通の便が悪い	309	217	147	673
11_徒歩や自転車での移動がしにくい	124	92	72	288
12_買い物など日常生活に不便である	192	124	88	404
13_働く環境が整備されていない	138	114	95	347
14_近所づきあい・人間関係が悪い	41	25	20	86
15_感じるところはない	139	108	81	328
16_その他	54	37	28	119
99_無回答	9	7	6	22

N=793

「住みにくさ」を感じているところとして、「公共交通の便が悪い」への回答が最も多く、次いで、「買い物など日常生活に不便である」、「働く環境が整備されていない」が続いており、約18%が住みにくさを感じることはないと回答している。

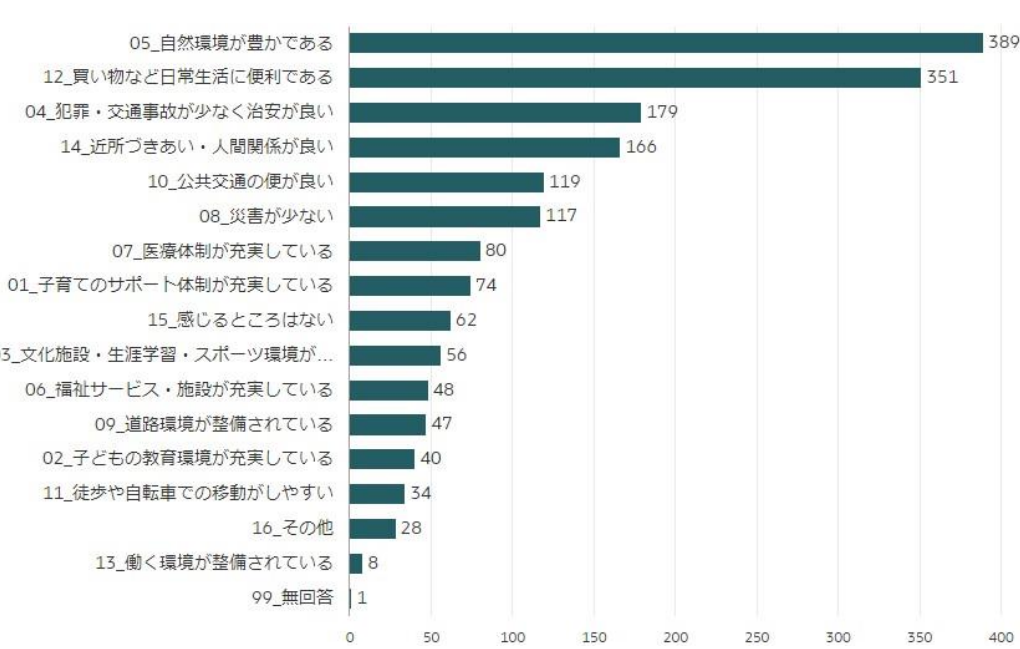
【その他の回答】
バスが1時間に1本程度しかなくとても不便だったことや街灯や店もほとんどないため暗い帰り道がすごく怖かった/防犯カメラの設置がない/通学道路、自転車道などの防犯灯、防犯のための明るい道がありません/道路の舗装を直してほしい/公園が少ない/子どもを遊ばせる遊具がある公園がない。バスケットの1on1ができる広場もない/子どもが遊べる遊具のある公園が少ない。小さい子どもでも遊べる遊具がない/公園がない。いつも市外に遊びに連れて行く/綺麗な公園が少ない/真新しいおでかけスポットがない/ホテルがない。観光資源発掘と観光への対応ができてない/楽しめる商業施設が少ない/ゴミの出し方/ゴミの日にプラゴミの回収が毎週あってもいい。現代はプラゴミは多く出るはずなのに現状の月に1回は少ない/ゴミ捨てが大変。缶や瓶、不燃物等分別回収もして欲しい。物の捨て方がわからない。仕事の都合上、平日の町内回収のところへ持って行くことができない/可燃ゴミ以外の収集がなく、月に一度の分別収集も子育て世代としては、一番忙しい時間帯で距離があるので出しに行けない/ゴミ分別が異常、これでは移住は増えない/資源ゴミが出しにくい/公共交通の便が悪い(熊本市内まで遠い)/高齢になり近くにお店がない。車でしか移動できない/通院が不便/タクシー利用時間の制限があり(8時以前の早朝時間がどの会社も対応がない)電車利用の妨げとなっている/高齢者が多いため不安な運転をよく目にする/パートで働いているが、他の自治体に比べて住民税が高い/税金が高い/水道、下水道料金が高い。水が不味い/水道料金が高すぎる/戸建住宅の新築に対する補助金が利用しづらい。宇城市内に住んで数年後に建てる場合には使えないものが多い。長く住みたいから太陽光やZEHなどを採用したいが、他の地域と比べて補助金がない/小学生からの医療費負担がきつい 1月に歯医者や皮膚科とか行くから4000はかかる/病院代も無償化にして欲しい/熊本市の方が手厚い/家が建ち始めて、夏祭りで、何処からでも見えていた花火が、見えなくなった/ジモティーの意見が強すぎる/雇用/動物(猪、シカ、ハクビシン等)が出てくる/田舎である/娯楽が無い。女子バレーボールクラブくらいでプロクラブも無い/山が多い/アパートが川の近くであり古いこともあって、外から家に入ってくる虫が多い/暴走族がうるさい。取り締まりをしてほしい/道路の脇の方が除草剤を撒いてある所があったりするので犬の散歩時に健康被害がないか心配。人間にもペットにも優しい街であってほしい/ペットの糞をそのままにしている人がまだ多い

Ⅱ 調査の結果

2. 暮らしについて

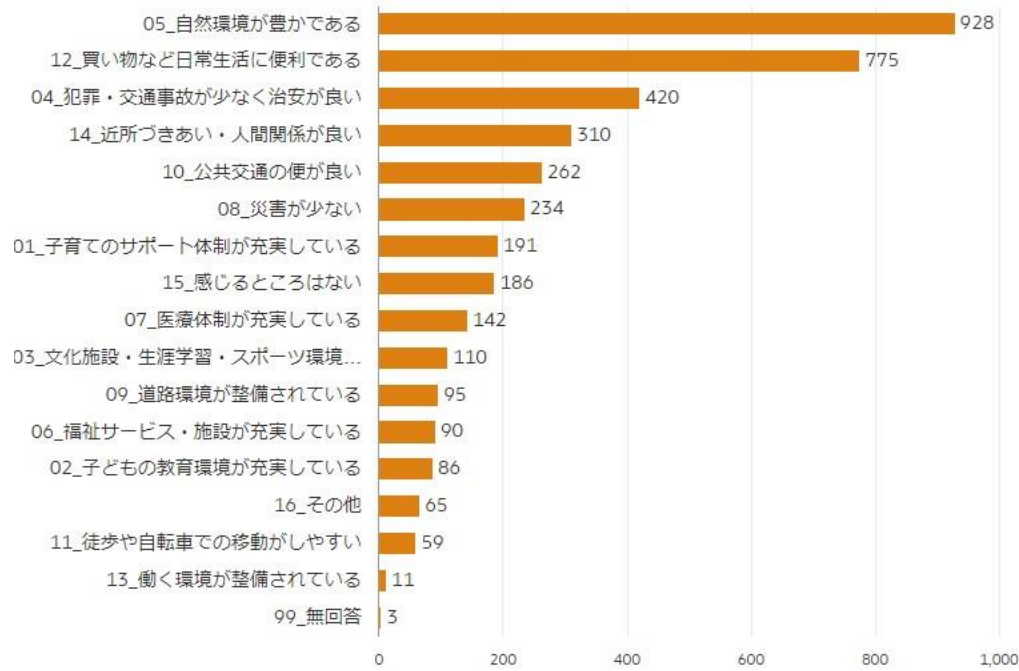
2-4.宇城市のどのようなところに「住みやすさ」を感じますか？（3位までの順位回答）

<単純総計>



N=793

<重み付け有> 最も近いを3点、2番目に近いを2点、3番目に近いを1点として集計



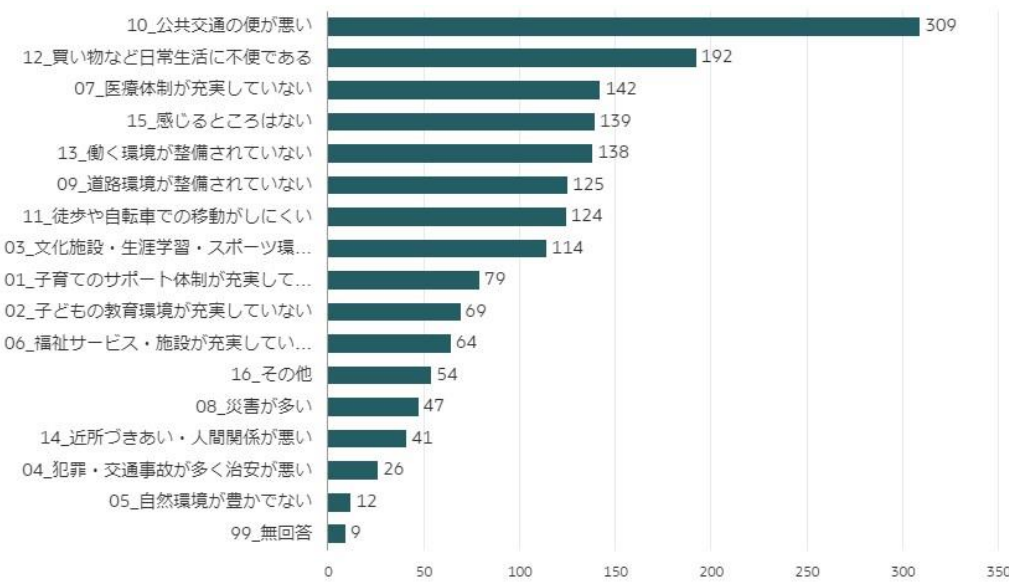
回答数に重み付けをしてみると、単純総計と順位はほとんど変わらないが、医療体制が充実していると子育てがしやすいでは、子育てがしやすいの方が最も「住みやすい」と感じるとの回答が多かったことから順位が逆転している。

Ⅱ 調査の結果

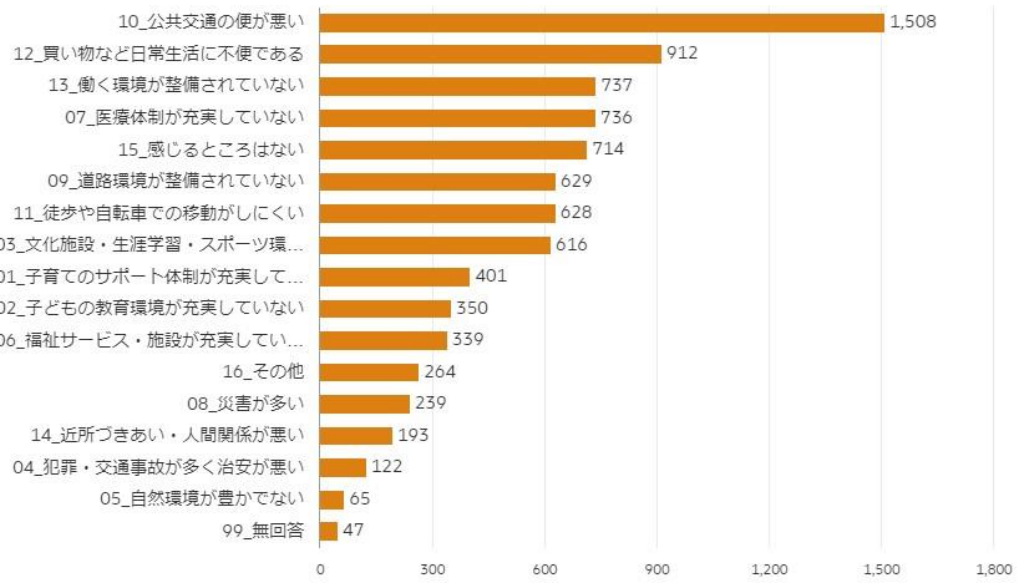
2. 暮らしについて

2-5.宇城市のどのようなところに「住みにくさ」を感じますか？（3位までの順位回答）

<単純総計>



<重み付け有> 最も近いを3点、2番目に近いを2点、3番目に近いを1点として集計



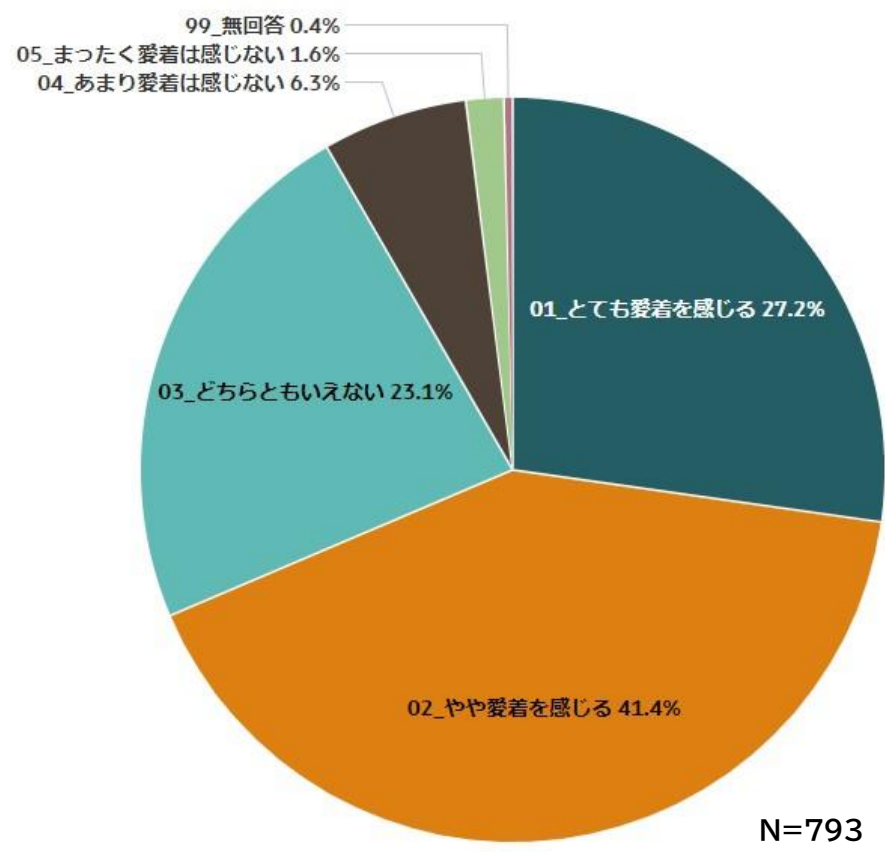
N=793

回答数に重み付けをしてみると、単純総計より、働く環境が整備されていないの順位が上がっている。

Ⅱ 調査の結果

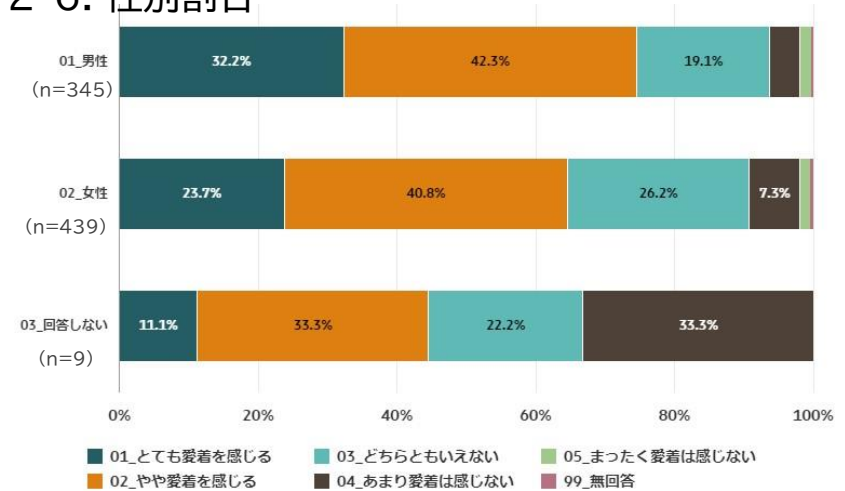
2. 暮らしについて

2-6.あなたは、宇城市に対して愛着を感じますか？

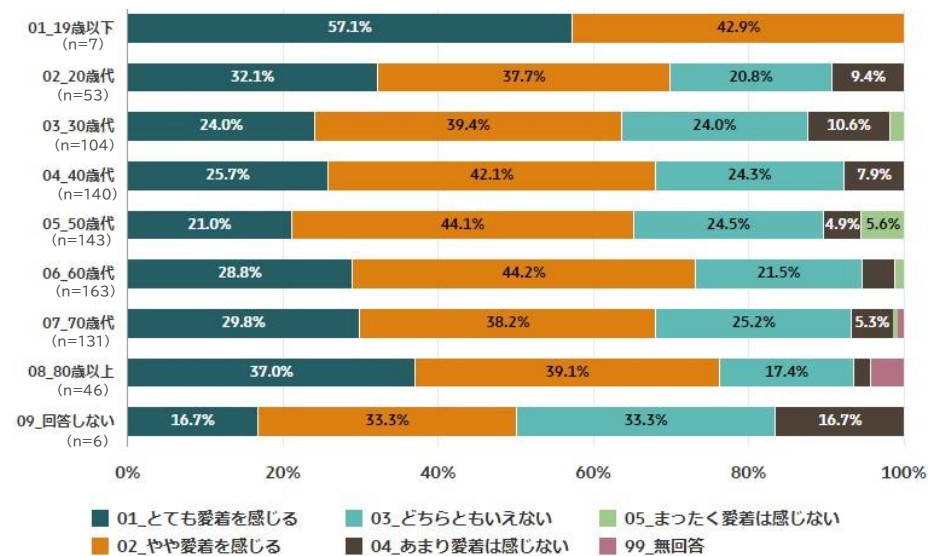


宇城市への愛着度は、やや愛着を感じると回答した割合が41.4%でもっと高く、とても愛着を感じると合わせた「愛着を感じる」が6割を超え、「愛着を感じない」と回答した割合は1割未満となっている。

2-6. 性別割合



2-6. 年齢別割合

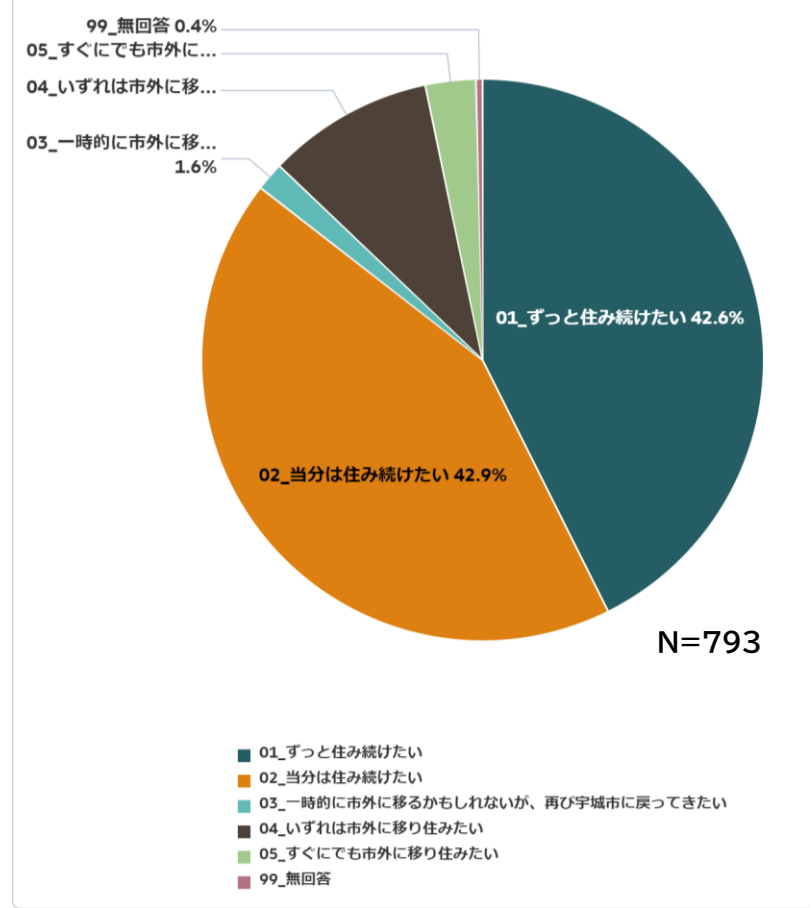


「愛着を感じる」と回答した割合は、男性が女性より高くなっている。年齢別では、20歳代～70歳代で「愛着を感じる」と6割以上が回答しているが、30歳代～50歳代はとても愛着を感じると回答した割合が低い。

Ⅱ 調査の結果

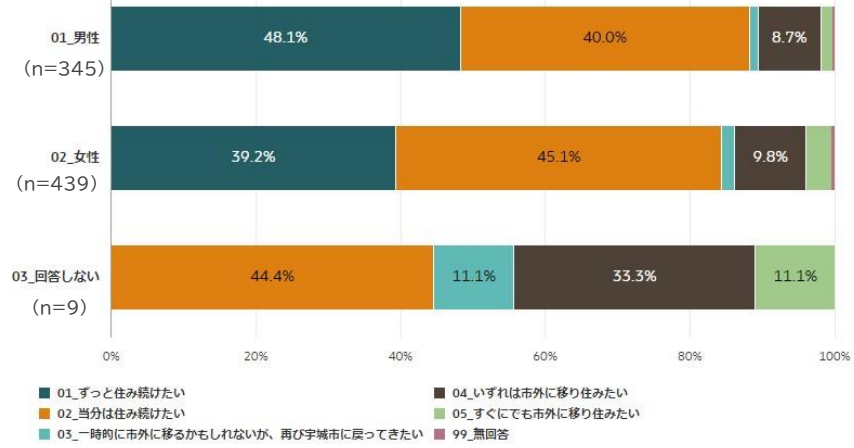
2. 暮らしについて

2-7.あなたは、これからも宇城市に住み続けたいと思いますか？

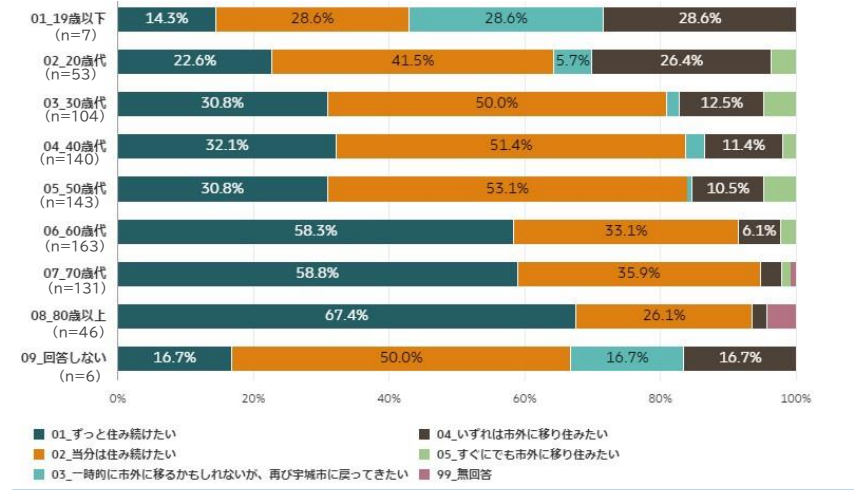


宇城市での今後の居住意向は、当分は住み続けたいと回答した割合が42.9%でもっと高く、ずっと住み続けたいと合わせた「住み続けたい」が8割を超え、「移り住みたい」と回答した割合は12.5%となっている。

2-7. 性別割合



2-7. 年齢別割合

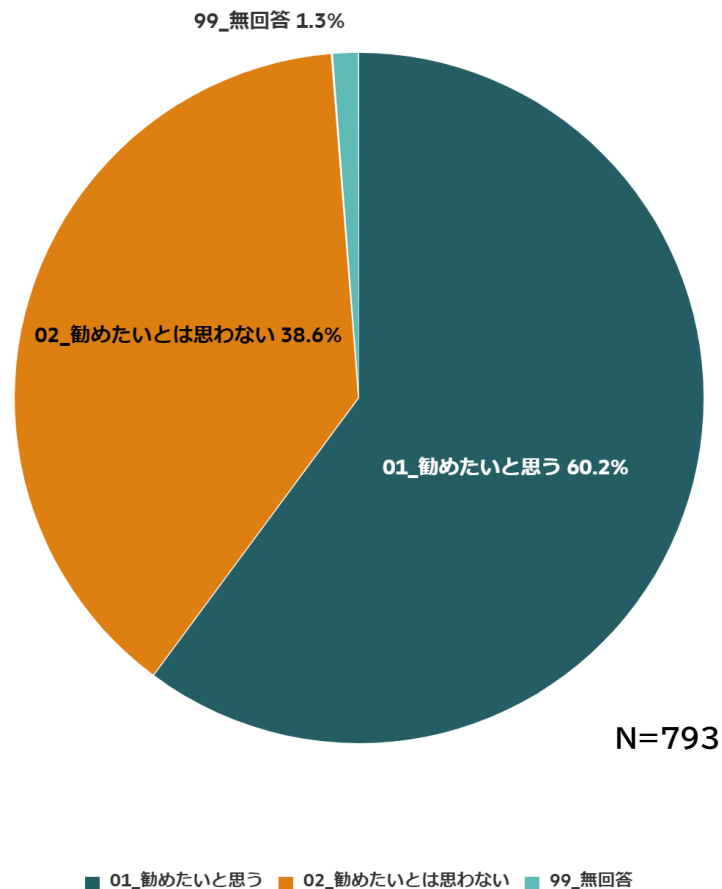


「住み続けたい」と回答した割合は、男性が女性より高くなっており、「移り住みたい」の割合が女性の方が高くなっている。
年齢別では、年代が高くなるにつれずっと住み続けたいの割合が高くなっている。

Ⅱ 調査の結果

2. 暮らしについて

2-8. あなたは、他の人に宇城市に住むことを勧めたいと思いますか？



他の人に宇城市に住むことを勧めたいと思うかは、勧めたいと思うと回答した割合が60.2%で、勧めたいとは思わないより高かった。

2-8. 勧めたいと思う理由

勧めたいと思う理由は、買い物や病院、交通等の利便性/教育環境や子育て等の支援体制/自然の豊かさ/住みやすさ/人柄/などを挙げている人が多かった。

2-8. 勧めたいと思わない理由

勧めたいと思わない理由は、車が運転できなくなった時の買い物や病院などの交通の不便さ/医療や福祉、教育の充実度/子育てや新築に対する補助制度が少なさ/公園や遊ぶところが少ない/働く場所が無い/水道代や自治会費などが高い/税金が高い/ゴミ出しが不便/動物が出てくる/地元の結束が強いことからの最初の疎外感/などが挙げていた。

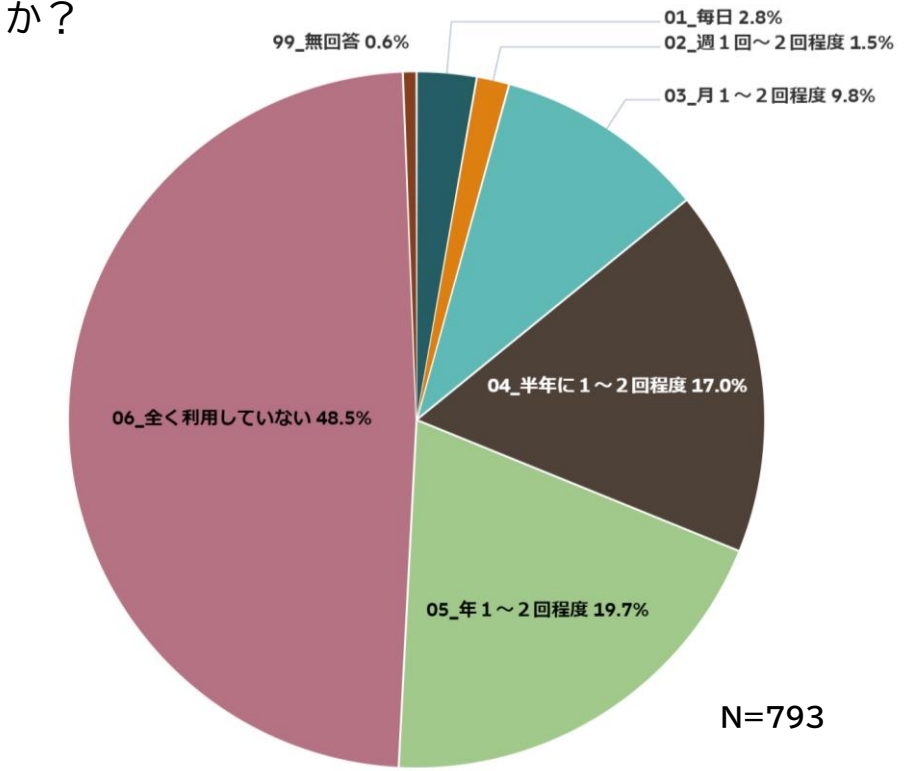
2-9. 他の自治体よりも宇城市が良いと思うところはどこだと思いますか？

他の自治体よりも宇城市が良いと思うところは、地域復興振興券や商品券などの手当てが充実している/給食費無料制度/子育て支援に力を入れている/支援が比較的充実している/小中学校が環境が良い/自然豊か/新鮮なものなどが豊富/車さえあれば病院、買い物する場所など豊富で生きていける/県でどこにでも行きやすい/交通の便が良い/JRや高速のインターがある/医療や福祉が充実/災害が少ない/文化や歴史に誇れる事柄や人物がたくさんある/人と人のつながり/などが挙げられていた。

Ⅱ 調査の結果

3. 宇城市の交通について

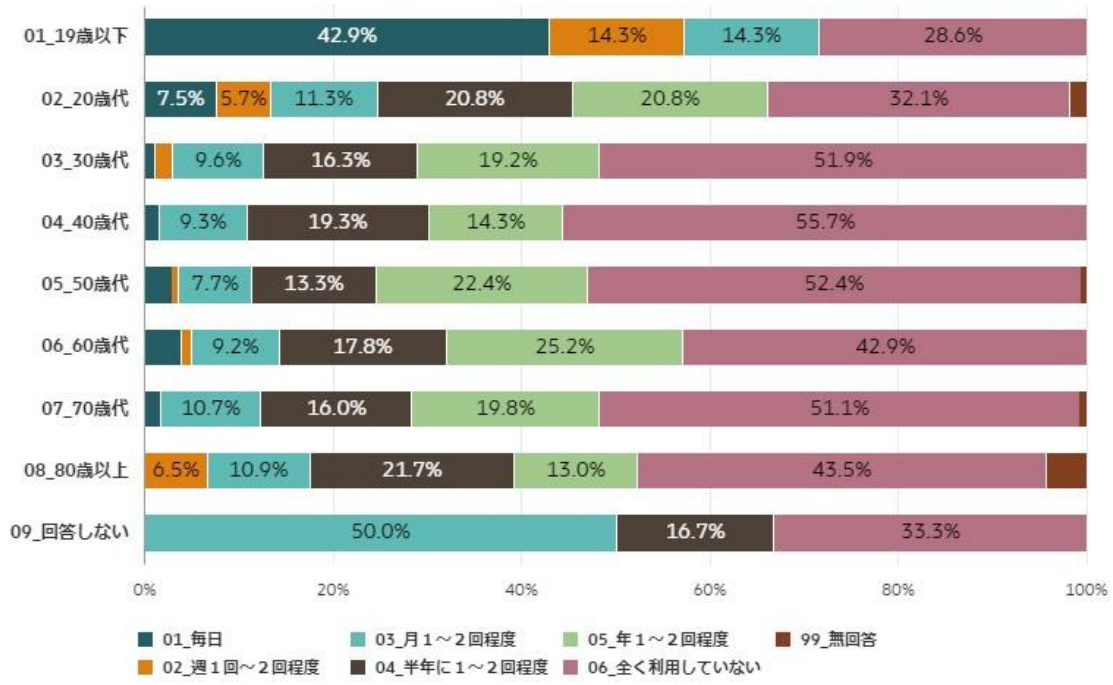
3-1.日常生活で公共交通機関(鉄道、路線バス、乗合タクシー、タクシー)をどのくらいの頻度で利用していますか？



01_毎日 02_週1回～2回程度 03_月1～2回程度 04_半年に1～2回程度 05_年1～2回程度 06_全く利用していない 99_無回答

公共交通機関の利用頻度は、全く利用していない割合が最も高く、48.5%となっている。

3-1. 年齢割合

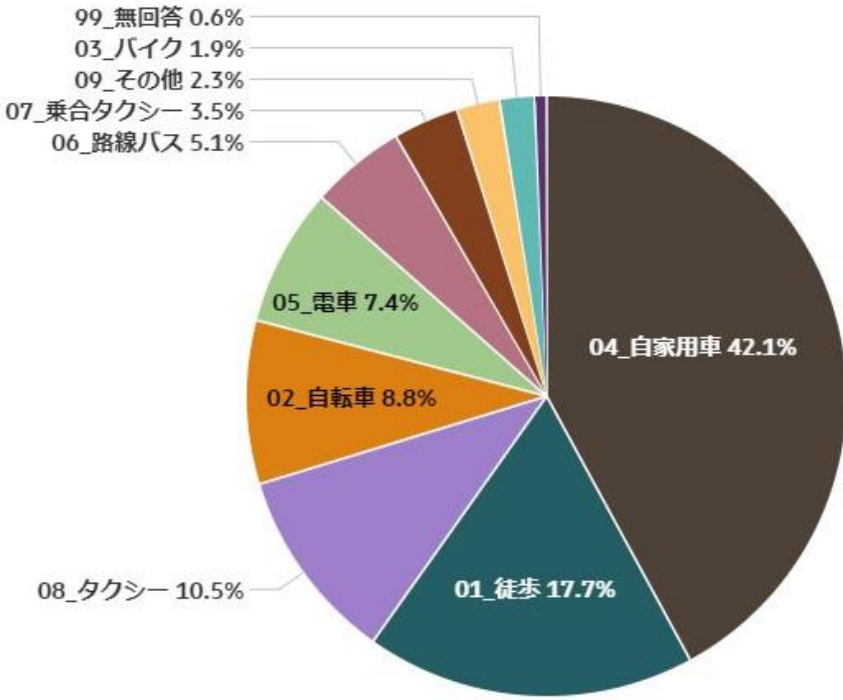


利用年齢は、毎日利用している割合は19歳以下が42.9%と最も高い。月1～2回以上利用している割合は、19歳以下が最も高く、次いで20歳代、80歳以上、60歳代の順に高い。

Ⅱ 調査の結果

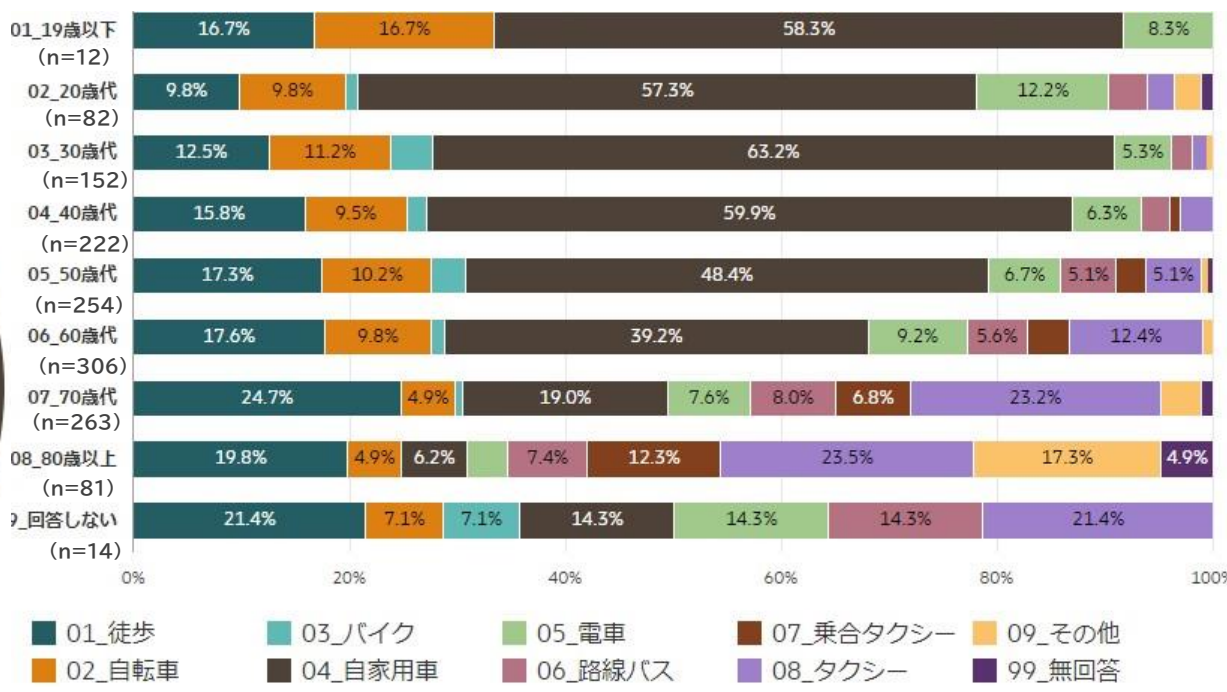
3. 宇城市の交通について

3-2.10年後の自分の日常生活の移動手段は何を
利用していると思いますか？(当てはまるものすべてに複数回答)



10年後の自分の日常生活の移動手段は、自家用車の割合が42.1%で最も高く、次いで、徒歩、タクシー、自転車、電車と続いている。

3-2. 年齢別割合



年齢別では、路線バスや乗合タクシー、タクシーと回答した方は、60代以上が他の年齢層より多くみられた。

Ⅱ 調査の結果

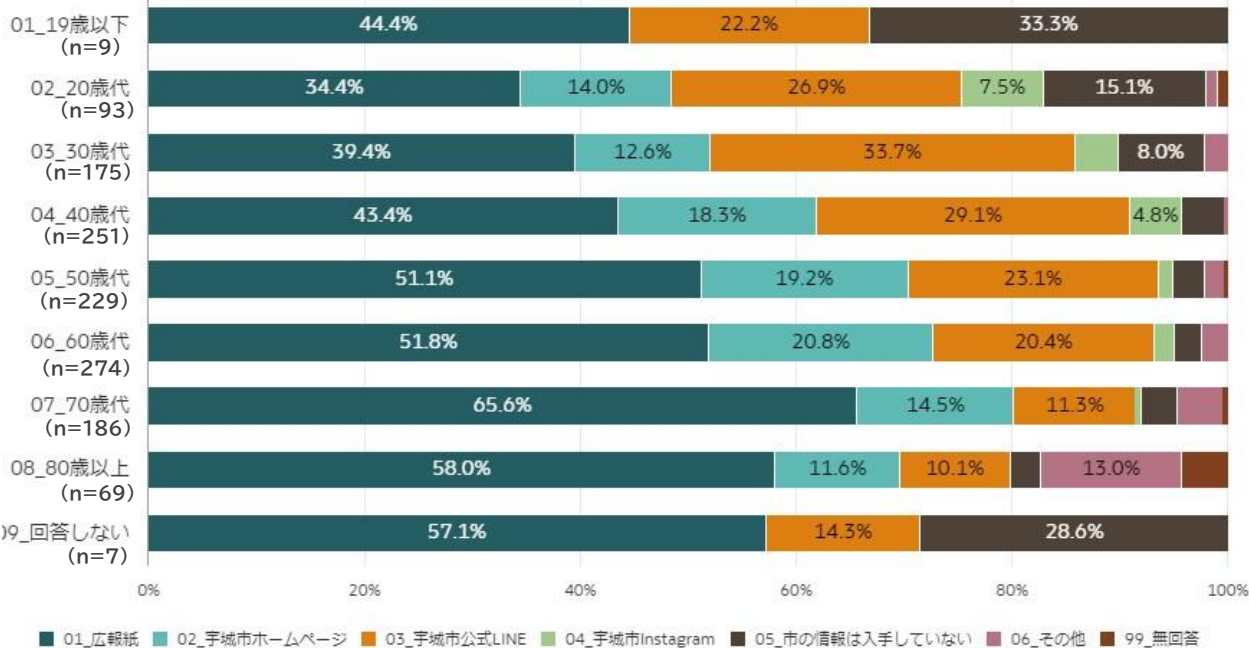
4. その他について

4-1.宇城市の情報をどのような手段で入手していますか？(5位までの順位回答)

4-1.宇城市の情報をどのような手段で入手していますか？	1番目に近い	2番目に近い	3番目に近い	4番目に近い	総計▼
01_広報紙	526	95	17	1	639
03_宇城市公式LINE	128	121	47	1	297
02_宇城市ホームページ	57	127	29	4	217
05_市の情報は入手していない	65				65
04_宇城市Instagram	4	13	8	10	35
06_その他	7	25	2		34
99_無回答	6				6

【その他の回答】
インターネット/ウキウキプレス/
フリーペーパー/メール/
宇城市役所内の情報誌/
加入している組織からの情報/回覧板/
議会だより/研修会、地域のサロン/
市役所からの放送など/集会/
新聞、報道、テレビ、ラジオ等のマスコミ/
人から聞く/
家族、友人、近所、知人、子供や友達の親/
老人会

<単純総計 年齢別>



N=793

「宇城市の情報をどのような手段で入手しているか」について、「広報紙」と回答した人が最も多く、次いで、宇城市公式LINE、宇城市ホームページと続いている。
年齢別では、50代以上の年齢で「広報紙」と回答している人が5割を超えた。
また、60代までの年齢で「宇城市公式LINE」と回答している人が20%以上いた。

Ⅱ 調査の結果

5. 宇城市の将来について(自由意見)

6-1.宇城市の将来についてご意見などがございましたら、自由にご記入ください。

アンケート回答者のうち、自由意見として何らかの回答記述があった回答者数は439人であった。

<寄せられた主な内容>

- ・高齢者になってからの買い物や通院などの交通手段、通学等の交通手段
- ・子育て支援、子供の医療費の支援
- ・医療や福祉の充実
- ・水道や下水道料金が安い
- ・ごみの分別や分別収集が不便
- ・公園など子どもが遊ぶ場所が少ない
- ・子供から高齢者まで人が集まる施設がほしい
- ・集客施設、集客イベントの充実
- ・企業誘致や働く場所の確保
- ・移住者や定住者が増える施策
- ・宅地造成や住宅整備、水道や下水道の整備
- ・農林業や中小企業への支援
- ・三角港の活用
- ・市職員の対応やレベルアップ、市の手続きの利便性向上(市役所内の行ったり来たりを減らす等)
- ・道路や歩道、通学路の整備
- ・街灯や防犯灯、防犯カメラ、カーブミラーの整備
- ・治安の向上や防犯対策
- ・低い土地の排水対策、海や川からの水位等の災害対策
- ・文化行政など文化イベントの充実
- ・スポーツ施設の充実